



11月1日は『おかやま教育の日』  
11月1～7日は『おかやま教育週間』

# 平成30年度 教育施策の概要

～ 第2次岡山県教育振興基本計画アクションプラン～



岡山県教育委員会

## 〔はじめに〕

本県教育の使命は、子どもたちに自らの進路を切り拓く力を確実に身に付けさせるとともに、郷土岡山を愛し、より良い社会づくりに積極的に貢献する人間を育てることです。平成28年2月に策定した第2次岡山県教育振興基本計画は、平成28年度からの5か年の施策の方向や主な取組、目標とする指標等を示したものでありますが、この冊子は、当該計画に基づき、各年度において取り組む施策・事業をアクションプラン（行動計画）として取りまとめたものです。

本県では、平成29年度からスタートした「新晴れの国おかやま生き生きプラン」において、「教育県岡山の復活」を重点戦略の第一に位置づけ、学力向上や徳育の推進に引き続き取り組むとともに、グローバル化する社会において、様々な分野で主体的に活躍する人材の育成を目指し、キャリア教育や、グローバル人材育成にも重点をおいて取り組むこととしています。

平成30年度においては、小中学校における不登校や長期欠席に対応するための医療機関等と連携した取組、PTAとの連携を強化した中学生の授業以外の学習時間の増加、高校生の留学支援の充実、高校生と県内企業との交流の推進、教員の勤務負担の更なる軽減による教育活動の充実など、「新晴れの国おかやま生き生きプラン」及び第2次岡山県教育振興基本計画に掲げる目標の達成に向け、取り組んでまいります。

諸施策の実施に当たっては、市町村教育委員会との相互の信頼関係の下、その役割と責任において主体的な姿勢で取り組むとともに、関係機関、関係団体等とも連携を深めながら、積極的に推進してまいります。また、政令市である岡山市とも、連携を密にし、共同歩調で教育行政を進めてまいります。

### 【表紙の写真】

第1回特別支援学校キャリア教育フェアの様子  
(健康の森学園支援学校の生徒の物品販売風景)

# 目 次

新晴れの国おかやま生き生きプラン 概要	… 2	4 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成	… 39
「教育県岡山の復活」新重点パッケージ	… 3	道徳教育の充実による規範意識の確立	… 39
第2次岡山県教育振興基本計画 概要	… 4	いじめや暴力行為等への対策の推進	… 40
第2次岡山県教育振興基本計画の目標指標	… 6	インターネット等青少年を取り巻く問題への対応	… 42
小中学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)	… 8	郷土愛の醸成	… 43
県立学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)	… 9	より良い社会づくりに参画する人材の育成	… 44
		健やかな体の育成	… 45
施策の概要		人権教育の推進	… 47
<b>1 魅力ある学校づくりの推進</b>	… 10		
子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備	… 10	<b>5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興</b>	… 49
不登校問題への対応	… 12	生涯学習活動の推進	… 49
教師の教える技術の向上等	… 15	文化創造活動の振興と文化財の保存・活用	… 51
就学前教育の充実等	… 19		
活力ある小・中学校づくり	… 20	平成30年度における新規・拡充事業及び廃止事業一覧	… 54
高等学校段階における教育の充実	… 21		
特別支援教育の推進	… 23	資料編	
大学等との連携	… 27	県予算と教育委員会予算	… 55
子どもたちの安全の確保	… 28	教職員定数	… 55
		知事部局等の関連事業	… 56
<b>2 学びのチャレンジ精神の育成</b>	… 29	主な教育関連等の月間・週間・日 一覧	… 58
子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり	… 29	県教育委員会組織・分掌	… 60
国際化に対応した教育の推進	… 32	教育に関する相談窓口	… 61
科学技術教育の推進	… 34		
<b>3 家庭・地域の教育力の向上</b>	… 35		
家庭の教育力を高めることによる、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着	… 35		
地域住民の参画による、学校教育支援、家庭教育支援等の取組と推進	… 36		
キャリア教育、職業教育の推進	… 37		



# 新晴れの国おかやま生き生きプラン

## 【計画期間：H29～32】 概要(教育関係のみ)



### 重点戦略 I 教育県岡山の復活

県民の教育熱心な気風を生かしながら、新たな発想をもって、家庭や地域の協力の下、落ち着いた学習環境の中で子どもたちが将来の夢や目標を持ち、勉学や部活動に意欲的に取り組んでいる学校と、子どもたちが生き生きと活躍できる取組がなされている地域の再生、すなわち、教育県岡山の復活に向けた取組を進めます。

#### 1 学力向上プログラム

- 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備(P.10-14)
- 就学前教育の充実と小学校教育への円滑な接続の推進(P.19)
- 教師の教える技術の向上(P.15-18)
- 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり(P.29-31)
- キャリア教育の推進(P.37-38)
- 高等学校における学力の向上(P.21-22)
- 家庭の教育力を高めることによる、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着(P.35-36)
- 地域住民の参画による学校教育支援、家庭教育支援等の取組の推進(P.36-37)
- 特別支援教育の充実(P.23-26)

#### 2 徳育推進プログラム

- 道徳教育の充実による規範意識の確立(P.39,43-44)
- 暴力行為等への対策の推進(P.40-41)
- 青少年の健全育成・非行防止対策の推進
- スマホ・ネット対策の推進(P.42-43)
- より良い社会づくりに参画する人材の育成(P.44-45)
- 健やかな体の育成(P.45-47)
- 人権教育の推進(P.47-48)
- 困難を有する子ども・若者への支援

※各戦略プログラムには、計画期間中に達成しようとする目標値として、「生き生き指標」を設定しています。

- ・■は重点施策  
(生き生き指標により達成度を示すことができる施策)
- ・□は推進施策(重点施策以外の施策)
- ・施策名の後のページ番号は、プランの各施策に関係する事業等を記載している本冊子におけるページ

#### 3 グローバル人材育成プログラム

- 子どもたちの英語力の向上と国際的に活躍できる人材の育成(P.32-33)
- グローバル化に対応した教員の育成と確保(P.32-33)
- 科学技術教育の推進(P.34)
- 情報化社会に対応した教育(P.31)
- 時代の変化に対応した魅力ある学校づくり(P.20-22)
- 大学等との連携(P.27-28)
- 多文化共生の地域づくりの推進

### 重点戦略 II 地域を支える産業の振興

#### 3 観光振興プログラム

- 観光資源としての自然や文化の積極的な活用

### 重点戦略 III 安心して豊かさが実感できる地域の創造

#### 4 防災対策強化プログラム

- 自らの安全は自らで守る取組の促進(P.28)
- 互いに助け合う取組の推進(P.28)
- 防災施設整備や公共施設等の耐震化の推進

#### 6 中山間地域等活力創出プログラム

- ワカモノ・ヨソモノによる中山間地域等の活力創出(P.49)

#### 8 生きがい・元気づくり支援プログラム

- 生涯学習活動の推進(P.50)



# 「教育県岡山の復活」重点パッケージ

新晴れの国おかやま生き生きプランに掲げた目標達成に向け、重点的に取り組む施策を6つの柱からなるパッケージとして実行します。

○は新規事業



©岡山県マスコット ももっち

## 1 効果的な取組を県下に普及し、全体をレベルアップする

- ・優良実践校の顕彰と、実践発表会やポータルサイトなどによる取組の普及

## 2 子どもたちが落ち着いて学習できる環境を整える

- 小学校における組織的な生徒指導体制の構築による、不登校・長期欠席への対応
- 医療機関等との連携による、新たな視点での不登校・長期欠席への対応強化
- ・就学前教育や、幼児への発達支援の充実による、小1プロブレムの解消

## 3 教師の教える技術の向上と子どもの学習時間の増加

- 学習指導要領改訂への適切な対応による、求められる指導の確実な実施
- 民間のノウハウを活用した研修等による、教員の意識改革
- 啓発キャンペーンやモデル実践等による、保護者を巻き込んだ中学生の家庭学習時間の増加
- ・県学力・学習状況調査による、学力状況のよりの確かな把握と対策
- ・教師業務アシスタント、部活動指導員配置による、教員の子どもと向き合う時間の確保
- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進による、子どもたちの学ぶ意欲の向上
- ・高等学校学力向上プロジェクトの実施による、高校生の学びの改善

## 4 子どもたちの豊かな心を育む

- ・道徳の教科化に向けた研修の充実や授業改善の推進による、教員の指導力向上と評価方法の確立
- ・小学校長期宿泊体験活動の普及・充実による、体験活動の更なる推進
- ・学校内外における小中高生の活躍の場の創出による、地域への愛着心の醸成

## 5 家庭の教育力向上の支援

- ・保健福祉部と連携した家庭へのアウトリーチ支援の強化による、就学前からの子育て家庭の繋がりづくりの促進
- ・家庭学習のスタンダード活用による、子どもたちの生活習慣の改善と学習習慣の定着

## 6 グローバルな視点を持ち、様々な分野で活躍する人材の育成

- 国際バカロレアの教育手法導入の研究による、更なるグローバル教育の体制強化
- 普通科等高校生の県内企業への理解促進による、地元への定着意識の醸成
- ・留学支援の充実による、高校段階での留学の促進
- ・教員のグローバル化の推進による、グローバル人材を育成する環境の整備

# 第2次岡山県教育

## 1. 策定の趣旨

岡山県教育振興基本計画に基づき進めてきた取組の成果と課題、さらには岡山県教育大綱を踏まえるとともに、県、県教育委員会が策定する各種計画等との整合を図り、学校教育や社会教育、文化、スポーツなどの教育分野全般にわたっての具体的な取組や目標とする指標を明らかにするものです。

## 2. 育みたい資質能力

子どもたちに育みたい資質能力として次の3点を掲げ、施策を推進します。

### 自立

(自立した一人の人間として、たくましく生きる)

- ・学ぶ意欲・確かな学力
- ・道徳性や規範意識
- ・健康・体力
- ・困難な課題にも粘り強く取り組むたくましさ
- ・望ましい勤労観や職業観
- ・情報活用能力
- ・自ら学び続け、個性を磨き創造性を高める自己教育力

### 共生

(自他共に尊重し、主体的に社会や自然と関わる)

- ・自他の人格や生命を尊重する心
- ・豊かな人間関係を築き、互いに助け合える力
- ・多様性を認め合い、他者を思いやる心
- ・他国の文化や習慣等の理解・尊重
- ・自然への関心や環境問題への参画意識

## 郷土岡山を大切にできる心

(郷土岡山を大切に思い、世界に視野を広げ、より良い社会づくりに参画する)

- ・郷土岡山や我が国の歴史・伝統・文化などを大切にできる心
- ・国際社会を生きていく力
- ・より良い社会づくりに参画・貢献する態度

## 3. 基本目標

本県教育の基本目標は、岡山県教育大綱において次のとおり定められており、本計画においては、この基本目標の実現に向けて取組を進めます。

「心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材の育成

## 4. 計画期間

本計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

# 振興基本計画の概要

## 5. 計画期間に取り組む施策

### 1 魅力ある学校づくりの推進

- (1) 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備
- (2) 不登校問題への対応
- (3) 教師の教える技術の向上等
- (4) 就学前教育の充実等
- (5) 活力ある小・中学校づくり
- (6) 高等学校段階における教育の充実
- (7) 特別支援教育の推進
- (8) 特色ある私立学校教育の支援
- (9) 大学等との連携
- (10) 子どもたちの安全の確保

### 2 学びのチャレンジ精神の育成

- (1) 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり
- (2) 国際化に対応した教育の推進【グローバル人材の育成】
- (3) 科学技術教育の推進

### 3 家庭・地域の教育力の向上

- (1) 家庭の教育力を高めることによる、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着
- (2) 地域住民の参画による学校教育支援、家庭教育支援等の取組と推進
- (3) キャリア教育、職業教育の推進

### 4 規範意識と思いやりの心 健やかな体の育成

- (1) 道徳教育の充実による規範意識の確立
- (2) いじめや暴力行為等への対策の推進
- (3) インターネット等青少年を取り巻く問題への対応
- (4) 郷土愛の醸成
- (5) より良い社会づくりに参画する人材の育成
- (6) 健やかな体の育成
- (7) 人権教育の推進

### 5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興

- (1) 生涯学習活動の推進
- (2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用
- (3) 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進



## 第2次岡山県教育振興基本計画の目標指標

★マークは、「新晴れの国おかやま生き生きプラン」にも掲げる目標指標(教育委員会関係)

H28年度の実績において、目標値を上回るものは太字で示している。

さらに、H28年度の実績において計画期間最終年度の目標値を上回るもの等について、目標値の見直しを行っている。

項目	目標指標の概要	計画策定時の値	H28 (上段)目標値 (下段)実績値	H29 目標値	H30 目標値	H31 目標値	H32 目標値	
1 魅力ある学校づくりの推進	子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備	★ 公立小・中学校における学級がうまく機能しない状況が発生している学級数	15学級	13学級 <b>10学級</b>	11学級	11学級	10学級	9学級
		★ 公立小・中学校における授業エスケープをしている児童生徒がいる学校数	27校	16校 19校	15校	14校	13校	12校
	不登校問題への対応	★ 小・中・高等学校における不登校の出現割合(児童生徒1千人当たり)	13.3人	10.0人以下 13.5人	9.9人以下	9.8人以下	9.7人以下	9.6人以下
	教師の教える技術の向上等	★ 全国学力・学習状況調査(平均正答率)の全国順位	小28位 中41位	小10位以内 中10位以内 小19位 中34位	小10位以内 中10位以内	小10位以内 中10位以内	小10位以内 中10位以内	小10位以内 中10位以内
	就学前教育の充実等	★ 保幼小接続カリキュラムを作成した市町村数	3市町村	3市町村 <b>15市町村</b>	3市町村	27市町村	27市町村	27市町村
	高等学校段階における教育の充実	高校生活に満足している生徒の割合(県立高校生)	90.4%	91.0% 90.2%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%
	特別支援教育の推進	特別支援学校高等部卒業生の就労の割合	39.5%	40.5% <b>46.2%</b>	41.0%	41.5% <b>→47.0%</b>	42% <b>→48.0%</b>	42.5% <b>→49.0%</b>
		特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率	76.1%	78.0% <b>82.9%</b>	79.0%	80.0% <b>→83.0%</b>	81% <b>→85.0%</b>	82.0% <b>→87.0%</b>
	大学等との連携	高大連携を実施している高等学校の割合	76.4%	80.0% <b>86.8%</b>	85.0%	90.0%	95.0%	100%
		子ども応援人材バンクの活用数	39件	60件 <b>68件</b>	80件	100件	125件	150件
子どもたちの安全の確保	緊急地震速報音を活用した抜き打ち避難訓練の実施	小19.0% 中13.0% 高59.0%	小43.0% 中39.0% 高73.0% <b>小53.2%</b> <b>中43.9%</b> <b>高85.1%</b>	小67.0% 中65.0% 高87.0%	小90.0% 中90.0% 高100.0%	小95.0% 中95.0% 高100.0%	小100.0% 中100.0% 高100.0%	
2 学びのチャレンジ精神の育成	子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり	★ 授業以外で平日に1時間以上学習する児童の割合(小学校6年生)	-	- 71.0%	69.6%	70.1% <b>→72.0%</b>	70.6% <b>→73.0%</b>	71.0% <b>→74.0%</b>
		★ 授業以外で平日に1時間以上学習する生徒の割合(中学校3年生)	-	- 59.2%	62.4%	64.9% <b>→66.2%</b>	67.5% <b>→70.0%</b>	70.0% <b>→71.0%</b>
	国際化に対応した教育の推進	中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合	34.7%	34.7% 32.8%	50.0%	53.3%	56.6%	60.0%
		高等学校3年生で英検準2級程度以上の英語力を有する生徒の割合	36.4%	40.0% 36.7%	50.0%	53.3%	56.6%	60.0%
	科学技術教育の推進	★ 国際科学コンテスト(理科4分野)における国内大会の参加者数	196人	260人 <b>291人</b>	280人	300人	320人	350人
3 家庭教育力・地域への向上	家庭教育力を高めることによる、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着	34.1%	56.0% <b>63.7%</b>	67.0%	78.0%	89.0%	100.0%	
	地域住民の参画による、学校教育支援、家庭教育支援等の取組と推進	73.1%	85.0% 82.1%	90.0%	95.0%	100.0%	100.0%	

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

概要  
施策の

魅力ある学校  
づくりの推進

学びのチャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と思いやり  
心豊かな体の育成

生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興

新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編

	項目	目標指標の概要	計画策定時の値	H28	H29 目標値	H30 目標値	H31 目標値	H32 目標値
				(上段)目標値 (下段)実績値				
3 家庭教育力・地域上の 向上の	キャリア教育、職業教育の 推進	★ 将来の夢や目標を持っている児童の割合(小学校6年生)	-	- 70.8%	69.2%	69.8%	70.4%	71.0%
		★ 将来の夢や目標を持っている生徒の割合(中学校3年生)	-	- 44.5%	45.8%	46.2%	46.6%	47.0%
		高等学校3年間の中でインターンシップや企業訪問等を体験した生徒の割合(公立全日制高校生)	40.5%	41.0% <b>78.8%</b>	50.0%	70.0%	85.0%	100.0%
		職業教育技術顕彰被顕彰者の割合	14.4%	16.0% 15.4%	17.0%	18.0%	19.0%	20.0%
4 規範意識と 思いやりの心、 健やかな体の 育成	道徳教育の充実による 規範意識の確立	★ 「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童の割合(小学校6年生)	-	- 41.9%	43.8%	45.9%	48.0%	50.0%
		★ 「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した生徒の割合(中学校3年生)	-	- 39.3%	41.8%	44.5%	47.3%	50.0%
	いじめや暴力行為等への 対策の推進	★ 小・中・高等学校における暴力行為の発生割合(児童生徒1千人当たり)	5.2件	4.0件以下 5.2件	3.8件以下	3.6件以下	3.4件以下	3.2件以下
	インターネット等青少年を取り巻く 問題への対応	★ スマートフォン等を平日3時間以上利用する児童生徒の割合	小15.8% 中25.0% 高39.0%	小10.0% 中16.0% 高25.0% 小15.5% 中22.5% 高34.6%	小5.0% 中10.0% 高15.0%	小5.0% 中10.0% 高15.0%	小5.0% 中10.0% 高15.0%	小5.0% 中10.0% 高15.0%
	郷土愛の醸成	★ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合(小学校6年生)	-	- 38.5%	45.8%	47.2%	48.6%	50.0%
		★ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合(中学校3年生)	-	- 18.5%	22.5%	23.3%	24.2%	25.0%
		★ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合(県立高校生)	43.5%	50.0% 42.1%	55.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	より良い社会づくりに 参画する人材の育成	地域や社会を良くするために何をすべきか、考えることがある生徒の割合(県立高校生)	51.8%	60.0% 51.5%	65.0%	70.0%	75.0%	80.0%
	健やかな体の育成	★ 1週間の総運動時間数が60分未満の児童生徒の割合(小学校5年生)	男子5.7% 女子12.1%	男子5.6%、女子11.8% 男子5.7%、 <b>女子10.5%</b>	男子5.5% 女子11.6%	男子5.4% 女子11.4% <b>→女子9.4%</b>	男子5.3% 女子11.2% <b>→女子9.1%</b>	男子5.2% 女子11.0% <b>→女子8.9%</b>
		★ 1週間の総運動時間数が60分未満の児童生徒の割合(中学校2年生)	男子7.0% 女子22.7%	男子6.7%、女子22.4% 男子7.1%、 <b>女子20.7%</b>	男子6.4% 女子22.1%	男子6.2% 女子21.8% <b>→女子18.6%</b>	男子6.0% 女子21.5% <b>→女子18.5%</b>	男子5.8% 女子21.2% <b>→女子18.4%</b>
	人権教育の推進	地域において人権教育・啓発を推進するために養成する指導者の数(累計)	452人	470人 <b>471人</b>	490人	510人	530人	550人
	5 生涯学習 環境の整備 と文化 の振興	生涯学習活動の推進	地域活動のコーディネーター育成数(累計)	37人	80人 69人	120人	160人	200人
★ 公立図書館から借りた本の数(県民1人当たりの貸出冊数)			6.37冊	6.45冊 <b>6.58冊</b>	6.60冊	6.75冊	6.90冊	7.00冊
文化創造活動の振興と文化財の保存・活用		県文化施設を活用した学校数(※)	245校	248校 <b>277校</b>	251校	254校 <b>→280校</b>	257校 <b>→290校</b>	260校 <b>→300校</b>
		おかやまの文化財キッズページ年間アクセス数	900件	1,200件 854件	1,500件	1,600件	1,700件	1,800件
生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進		成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合(※)	47.7%	60.0% 49.1%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%

(※)は知事部局所管の指標

(参考) 上記★マーク以外で新晴れの国おかやま生き生きプランに掲げる目標指標	計画策定時の値	目標値
「授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合(小学校6年生)	79.5%	⇒ 81.0%
「授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合(中学校3年生)	70.0%	⇒ 72.0%
海外の学校と姉妹校提携を締結している県立高等学校数	8校	⇒ 20校
英検準1級以上等を取得している英語担当教員の割合	中学校 23.1% 高等学校 55.6%	⇒ 中学校 50.0% 高等学校 75.0%
プログラミングコンテストにおける参加数	2団体/年	⇒ 22団体/年

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

概要

魅力ある学校  
づくりの推進

学びの  
チャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と  
思いやりの  
心、健やかな  
体の育成

生涯学習  
環境の整備と  
文化・スポーツ  
の振興

新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編

# 小中学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)

困ったときは、所管の市町村教育委員会に相談してください。県のサポートが受けられます。



市町村教育委員会

## 岡山県教育委員会

学力向上に関すること : 義務教育課学力向上対策班  
 問題行動等に関すること : 義務教育課生徒指導推進室  
 特別支援教育に関すること : 特別支援教育課  
 支援出先機関 : 教育事務所(岡山・津山)、県総合教育センター

### ■学力向上の取組への支援

#### ○学力の定着状況の把握と結果の活用の支援 (P. 15)

- ・全国及び岡山県学力・学習状況調査分析結果について、希望する教育委員会及び小中学校への個別訪問による説明の実施

#### ○授業改善への支援 (P. 15-16)

- ・授業改革推進リーダー・推進員等による授業改善の推進と好実践の普及・拡大
- ・学力調査官を招いての研修会
- ・おかやま教師力アップセミナー
- ・学校力向上サポートキャラバン  
各学校の校内研修や市町村教育委員会等が開催する研修会への指導主事派遣による、学校力向上に必要な支援の実施

#### ○学力向上のための素材集、好事例の提供

県教委ホームページで、長期休業中の課題集や学習到達度確認テスト、ふりかえりプリント集を提供。

#### ○地域人材の活用に向けた支援 (P. 27-28)

- ・子ども応援人材バンク

### ■学校の荒れの解消への支援

#### ○未然防止の取組への支援 (P. 10)

- ・落ち着いた学級づくり支援事業

#### ○問題行動への対応の支援 (P. 11-12)

- ・学級崩壊等への早期支援
- ・学級サポートチームの派遣

#### ○家庭への支援 (P. 11-12)

- ・スクールソーシャルワーカー(S S W)の派遣

### ■不登校・長期欠席対策への支援

#### ○未然防止の取組への支援 (P. 12-14)

- ・生徒指導専任リーダーによる組織的生徒指導体制構築の支援(小のみ)
- ・不登校・長期欠席対策事業(小のみ)  
登校支援員の配置
- ・スクールカウンセラー(S C)の配置

#### ○登校に向けた支援 (P. 12-14)

- ・学校力向上サポートキャラバン(再掲)
- ・S Cの配置(再掲)

#### ○家庭への支援 (P. 12-14)

- ・S S Wの派遣(再掲)

### ■いじめ問題への対応支援

#### ○未然防止や個別事案への対応の支援 (P. 40-43)

- ・ネットパトロールによるインターネット上の不適切な書き込みの監視や削除代行
- ・いじめ問題に関する専門指導員等による相談・支援
- ・心と命のサポート事業

### ■スマホ・ネット問題への対応支援

#### ○スマホ・ネット問題総合対策の推進 (P. 42-43)

- ・児童生徒の主体的な活動の促進
- ・教職員の指導力向上の促進
- ・家庭・地域への啓発活動の促進

### ■特別な支援を要する児童生徒への指導に関する支援

#### ○校内支援体制整備への支援 (P. 23-26)

- ・専門指導員の派遣
- ・学校力向上サポートキャラバン(再掲)

### ■上記の取組によっても学校だけでは解決困難な事案への支援

#### ○重大事態への対応の支援

- ・緊急危機支援チームの派遣、弁護士への相談支援



# 県立学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)

## 岡山県教育委員会

学力向上に関すること : 高校教育課指導班  
 義務教育課学力向上対策班  
 問題行動等に関すること : 義務教育課生徒指導推進室  
 特別支援教育に関すること : 特別支援教育課  
 支援出先機関 : 県総合教育センター



### ■問題行動解消へ向けた支援

#### ○未然防止の取組への支援 (P. 40, 47)

- ・県立学校人権教育サポート事業 (中・中等・高・特)
- ・心と命のサポート事業(中・中等・高・特)

#### ○問題行動への対応の支援 (P. 10-12, 24)

- ・思春期サポート事業 (中等・高)
- ・学級崩壊等への早期支援(中・中等)
- ・特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業 (特)

#### ○家庭への支援 (P. 12-14, 24)

- ・スクールソーシャルワーカー(S S W)の派遣 (中・中等・高・特)

### ■魅力ある学校づくりへの支援

#### ○学校経営予算(中・中等・高・特) (P. 22, 24)

### ■学力向上の取組への支援

#### ○基礎基本の徹底に向けた取組 (P. 22)

- ・学力向上コーディネーターの配置(中等・高) 学力状況の分析と指導改善方策の検討

#### ○思考力等の育成に向けた取組 (P. 22)

- ・アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた教員の指導力向上や生徒の学びの場の提供 (中等・高)

#### ○授業改善等への支援

- ・指導主事への相談(中・中等・高) 教科の指導や各領域の教育活動、教職員の研修など、学校の教育活動全般にわたっての学校運営の支援
- ・学校力向上サポートキャラバン (中・中等・高・特) 各学校の校内研修等への指導主事派遣による、学校力向上に必要な支援の実施

#### ○地域人材の活用に向けた支援(P. 28)

- ・子ども応援人材バンク(中・中等・高・特)

### ■いじめ問題への対応支援

#### ○未然防止や個別事案への対応の支援 (P. 40-43)

- ・ネットパトロールによるインターネット上の不適切な書き込みの監視や削除代行 (中・中等・高)
- ・いじめ問題に関する専門指導員等による相談・支援(中・中等・高)
- ・心と命のサポート事業(中・中等・高・特)(再掲)

### ■スマホ・ネット問題への対応支援

#### ○スマホ・ネット問題総合対策の推進 (P. 42-43)

- ・児童生徒の主体的な活動の促進(中・中等・高)
- ・教職員の指導力向上の促進(中・中等・高・特)
- ・家庭・地域への啓発活動の促進(中・中等・高・特)

### ■特別な支援を要する生徒への指導に関する支援

#### ○県立学校における特別支援教育の充実 (P. 23-27)

- ・専門指導員の派遣(中・中等・高・特)
- ・学校力向上サポートキャラバン(中・中等・高・特)(再掲)
- ・通級指導の実施(中等・高)
- ・就労支援コーディネーターの派遣(中等・高・特)

### ■上記の取組によっても学校だけでは解決困難な事案への支援

#### ○重大事態への対応の支援

- ・緊急危機支援チームの派遣、弁護士への相談支援(中・中等・高・特)

# 施策の概要

- 以下は、第2次岡山県教育振興基本計画の体系に沿って、平成28年度から平成32年度までの工程を示すとともに、それぞれの施策ごとに来年度実施する事業を整理しています。
- 工程表については、これまでの進捗を示すとともに、それを踏まえて工程の前倒しを行うなどの修正を加えています。

## 1 魅力ある学校づくりの推進

### (1)子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備

子どもたちが落ち着いた授業環境で意欲的に学ぶことができるよう、学習の基礎となる授業規律の確保、学級集団の意識を高める取組の推進、学び合う集団の育成に努めるとともに、生徒指導対応等のための教員や支援員などの効果的な配置・活用等を図ります。これらにより、授業エスケープや学級崩壊を生まない学級づくり、魅力ある学校づくりを推進します。

### 《学習意欲や学級集団の意識の向上、学び合う集団の育成》

※第2次岡山県教育振興基本計画に掲げる5年間の工程表。昨年度からの変更は、網かけをしている。以下同様

H28	H29	H30	H31	H32
		学習指導のスタンダードの徹底 ⇒ 「教える技術(授業力)」の向上等を参照		
		新指導要領を踏まえた改訂版の作成	改訂版スタンダードの普及・徹底	
		心理検査を活用した落ち着いた学級づくりの支援		
	課題対応事例集の作成に向けた委員会の設置	課題対応事例集の作成	課題対応事例集の活用促進	

#### H29の進捗

- 授業改革推進リーダーの配置等により、学習指導のスタンダードの徹底や地域の授業改善、校内指導體制の確立を進めている。
- 心理検査を活用した落ち着いた学級づくりに取り組む学校を支援するとともに、市町村が主体的に指導助言を行うことができるよう指導主事への研修を実施している。また、課題対応事例集の作成に向け、協力校へ専門的な指導者を派遣し、望ましい学級集団に導く取組の実践を行っている。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
落ち着いた学級づくり支援事業	小、中 教委	小5・中1を中心に心理検査を活用して落ち着いた学級づくりに取り組む学校を支援するとともに、学級経営の在り方についての理解を深めた実践的リーダーの育成や、市町村教委の指導主事を対象とした研修の実施により、いじめや暴力行為、不登校等の未然防止と、児童生徒一人一人が尊重され意欲的に学習や活動に取り組むことができる学級づくりを推進する。 あわせて、課題対応事例集を作成する。	9,000
<b>拡充</b>			

## 《授業規律の確立》

H28	H29	H30	H31	H32
		学習指導のスタンダードの徹底(再掲) ⇒ 「教える技術(授業力)」の向上等を参照		
		新指導要領を踏まえた改訂版の作成(再掲)	改訂版スタンダードの普及・徹底(再掲)	
		保幼小接続スタンダードの徹底 ⇒ 就学前教育の充実等を参照		

### H29の進捗

- 授業改革推進リーダーの配置等により、学習指導のスタンダードの徹底や地域の授業改善、校内指導体制の確立を進めている。(再掲)
- 就学前教育スーパーバイザーの配置等により、保幼小接続スタンダードの徹底や、各市町村における教職員研修及び保幼小接続カリキュラム作成等への支援を進めている。
- 家庭との連携による就学前教育の充実に向け、非認知能力育成等に関する保護者向けリーフレットを作成・配付した。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
小1グッドスタート支援事業	小	小学校第1学年の児童数が30人以上の学級に、地域の人材を活用した支援員を配置し、基本的な生活習慣の確立や基礎学力の向上を図り、学校生活を円滑にスタートできるようにする。	71,611
就学前教育推進プロジェクト	保、幼 こ、小 教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及、市町村の保幼小接続カリキュラム作成支援、市町村への指導・助言や支援等を行うとともに、幼稚園籍の指導主事のいない市に就学前教育アドバイザーを配置し、市町村の指導体制の充実を図る。	13,056

## 《学校の荒れの解消》

H28	H29	H30	H31	H32
		生徒指導体制の確立・充実に向けた関係機関との連携		
		組織的生徒指導体制構築に向けた取組の強化		
		専門家(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等)の活用による困難事例を中心とした課題の解消		
		未然防止・早期対応の一層の強化		
		学級崩壊等の解消に向けた支援員等の派遣		

### H29の進捗

- 定期的な研修やスーパーバイザー(SV)からの指導を通じてスクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)の専門性向上を図り、課題の解消に努めるとともに、市町村教委や生徒指導担当教員に、問題行動等の未然防止、早期対応、チーム対応、専門家との連携の徹底を働きかけている。
- 問題行動が見られる学校への集中的・継続的な支援を実施し、状況の改善に努めている。



**最重点事業**

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
生徒指導専任リーダーの配置 <b>新規</b>	小	複数小学校を兼務し、管理職とともに生徒指導担当者への指導・助言を行い、組織的生徒指導推進体制の構築に取り組む生徒指導専任リーダーを、県北地域及び県南地域に各1名配置し、学校の生徒指導力の強化を図る。	- (運営費で対応)

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
スクールカウンセラー（SC）配置事業 <b>拡充</b>	小、中 中等	公立全中学校（岡山市を除く）と小学校88校に臨床心理士等の専門家をSCとして配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、SVによる指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。 【拡充内容】小学校配置 78校→88校 SV 6人→7人	141,776
スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した行動連携推進事業	小、中 中等、高	県内の各市町村を12ブロックに分けたそれぞれの地域をSSWが担当し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。	162,111
思春期サポート事業 <b>拡充</b>	中等、高 保護者	全県立高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に対し、臨床心理士等の専門家による、生徒・保護者に対するカウンセリング、教職員に対する助言・研修等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。 【拡充内容】年12回→年15回	11,610
学級サポートチーム派遣事業	小、中 中等	学級がうまく機能しない状況がある公立小・中学校に対して、児童福祉等の専門家による専門指導員（学級サポートリーダー）を派遣するとともに、教育支援員を一定期間配置し、問題解決を支援する。	14,667
学級崩壊等早期対応事業	小、中 中等	問題行動が見え始めた学校に対して、警察OBと教員OBのペアによる集中指導員等を早期に一定期間継続的に派遣するなど、指導体制の強化を図るとともに、授業エスケープ等が見られる児童生徒の教室復帰に向けた学習支援等を行う別室指導支援員を一定期間配置する。	46,366

**(2)不登校問題への対応**

不登校の未然防止と早期対応に向けて、教職員の教育相談能力の向上、校内組織体制の確立、スクールソーシャルワーカー等の専門家の活用及び学校・家庭・関係機関等との連携を促進し、新たな不登校を生まない取組を強化するとともに、長期欠席全体の減少に向けた取組を進めます。

**《学校の組織的対応力の向上》**

H28	H29	H30	H31	H32
		不登校担当者を中心とした体制の強化		
		不登校担当者の明確な位置付けと研修の充実 ⇒ 優れた人材の確保等参照		
		組織的生徒指導体制構築に向けた取組の強化(再掲)		
		体制強化のための人的措置(教員加配や支援員の配置)		

**H29の進捗**

- 新たに不登校となる児童の不登校児童全体に占める割合(㉗56.9%⇒㉘43.7%)は減少しているものの、全校種で長期欠席者数が増加するなど、取組の更なる徹底が必要である。
- 登校支援員の配置がより効果的なものになるよう、112校のうち大規模校19校で複数の登校支援員を配置するとともに、専門指導員等による巡回指導を実施している。
- 不登校の課題が大きい中学校への非常勤講師の配置を行い、組織的な不登校・長期欠席の取組を支援している。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
生徒指導専任リーダーの配置(再掲) <b>新規</b>	小	複数小学校を兼務し、管理職とともに生徒指導担当者への指導・助言を行い、組織的生徒指導推進体制の構築に取り組む生徒指導専任リーダーを、県北地域及び県南地域に各1名配置し、学校の生徒指導力の強化を図る。	- (運営費で対応)
不登校対策のための教員派遣事業	中	不登校生徒が多い中学校において、不登校対策を担当する教員が十分活動できるよう、中学校24校に非常勤講師を配置し、不登校の未然防止や不登校生徒への対応の充実を図る。	28,283
小学校における不登校・長期欠席対策事業	小	公立小学校に登校支援員を配置(100校120人)し、登校しづらい状況が見え始めた児童に対する登校支援等を行うとともに、担当教員等への研修、専門指導員の巡回訪問による指導・助言など、新たな不登校を生まない取組を中心に、不登校・長期欠席傾向のある児童への支援を行う。	99,674

### 《専門家の活用及び学校・家庭・関係機関との連携の促進》

H28	H29	H30	H31	H32
専門家(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー)の活用				
不登校関係機関等との連携・研究				
医療との連携による不登校・長期欠席対策の研究				

#### H29の進捗

- 登校支援員配置校の担当者やSC、SSW等の研修会において、医療機関と連携し、「起立性調節障害」等の児童生徒への対応強化を進めている。
- 専門機関、教育支援センター、おかやま希望学園、市町村の福祉部局等と連携した取組を進めている。

### 最重点事業

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
医療と連携した不登校・長期欠席対策研究事業 <b>新規</b>	小、中 中等、高 保護者 教委	医療機関や保健福祉部局との連携による研究会にて、起立性調節障害等を見分けるためのチェックリストや、支援機関マップなどを作成し、各学校や保護者へ配付するとともに、生徒指導担当教員や不登校対策の専門家等の研修などで活用・普及を図るなど、医療との連携の視点からの不登校・長期欠席対策を行う。	1,000

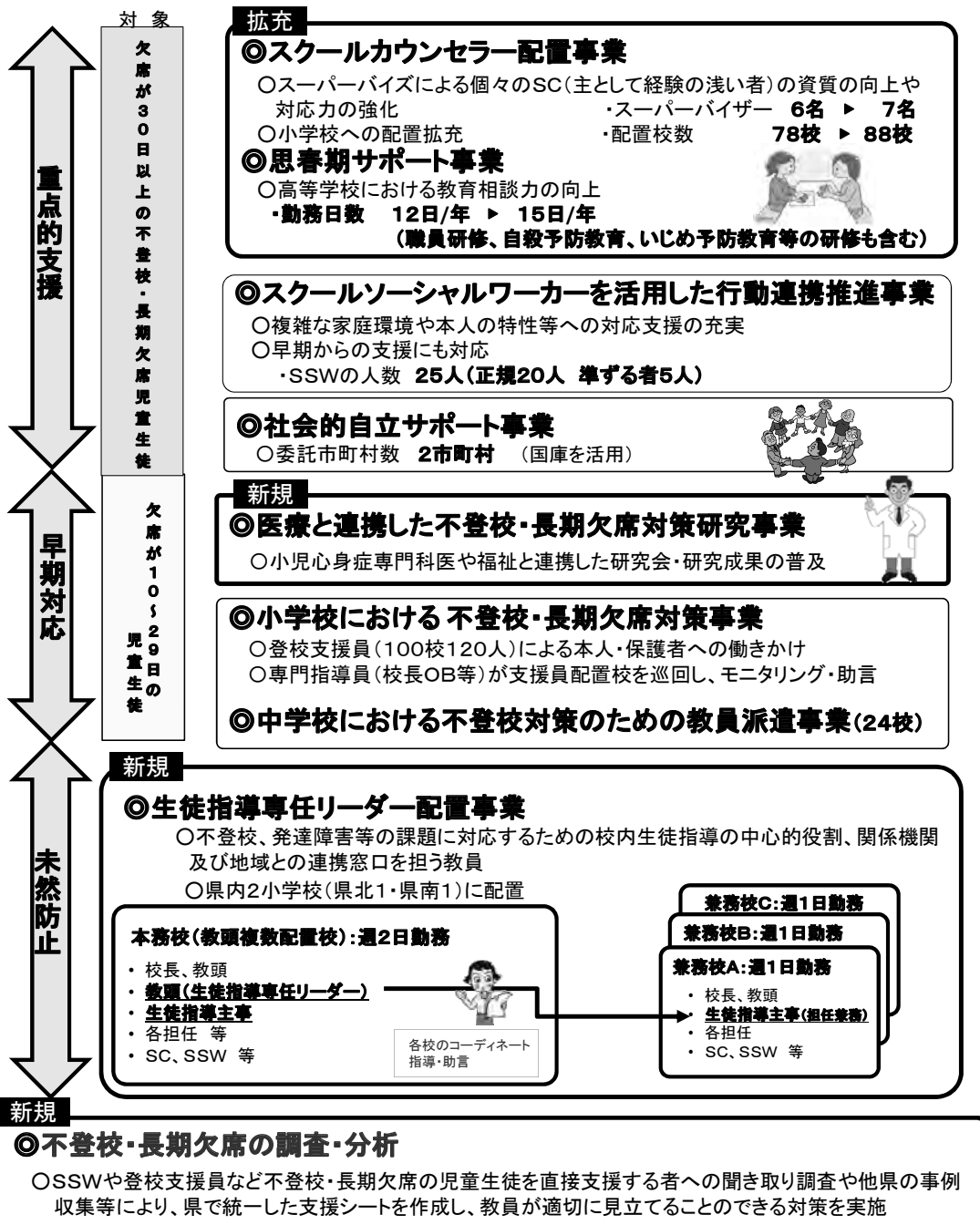
(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
スクールカウンセラー(SC)配置事業(再掲) <b>拡充</b>	小、中 中等	公立全中学校(岡山市を除く)と小学校88校に臨床心理士等の専門家をSCとして配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、SVによる指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。 【拡充内容】小学校配置 78校→88校 SV 6人→7人	141,776
スクールソーシャルワーカー(SSW)を活用した行動連携推進事業(再掲)	小、中 中等、高	県内の各市町村を12ブロックに分けたそれぞれの地域をSSWが担当し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。	162,111
思春期サポート事業(再掲) <b>拡充</b>	中等、高 保護者	全県立高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に対し、臨床心理士等の専門家による、生徒・保護者に対するカウンセリング、教職員に対する助言・研修等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。 【拡充内容】年12回→年15回	11,610

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
小学校における不登校・長期欠席対策事業（再掲）	小	公立小学校に登校支援員(100校120人)を配置し、登校しづらい状況が見え始めた児童に対する登校支援等を行うとともに、担当教員等への研修、専門指導員の巡回訪問による指導・助言など、新たな不登校を生まない取組を中心に、不登校・長期欠席傾向のある児童への支援を行う。	99,674
不登校・長期欠席の調査・分析 <b>新規</b>	小、中等、高 保護者 教委	SSWや登校支援員など、不登校・長期欠席の児童生徒を直接支援する者への聞き取り調査や、他県の事例収集等により、県で統一した支援シート等を作成し、教員が適切に見立てることのできる対策を行う。	1,000
社会的自立サポート事業	小、中 中等、高 保護者 教委	教育支援センター（適応指導教室）の機能強化の研究、教育支援センター・おかやま希望学園・フリースクール等の関係機関相互の効果的な連携の在り方に関する研究等を行い、不登校児童生徒の社会的自立を支援する。	8,660

## 不登校・長期欠席対策



新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

施策の  
概要  
魅力ある学校  
づくりの推進

学びのチャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と思いやりの  
心、健やかな体の育成

生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興

新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編



### (3)教師の教える技術の向上等

子どもたち一人ひとりの状況を的確に把握し、習熟度別指導など個に応じたきめ細かい指導を充実するとともに、授業改善やICT活用等指導力向上のための研修を推進することなどにより、子どもの学習意欲を喚起し学力を向上させる「教える技術(授業力)」の高い、不断に学び合う教員を養成します。また、道徳や小学校英語の教科化に対応した教員研修等を計画的に実施します。

さらに、教職員には、強い使命感、子どもたちへの教育的愛情及び実践的指導力やコミュニケーション能力など、学校や子どもたちが抱えるさまざまな教育課題に適切に対処できる資質や能力が求められることから、人間性豊かで優れた人材の確保に努めるとともに、採用後研修の充実や適切な人事管理等を行います。

また、教職員が自らの資質能力を十分発揮できるよう、教職員の健康の保持増進、メンタルヘルス対策の充実等を図ります。

#### 《学力状況の把握》

H28	H29	H30	H31	H32
児童生徒の学力・学習状況の調査・分析・活用				

#### H29の進捗

- H29全国学力・学習状況調査結果で、平均正答率が小学校は全国を上回り、中学校で全国との差がかなり縮減するなど、一定の成果が見られる。
- 全国及び県調査結果に基づく授業改善を進めるとともに、Web評価支援システムの効果的な活用等、一人一人の課題に応じた支援の更なる充実に取り組んでいる。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
岡山県学力・学習状況調査	小、中 中等、特	小学校第3～5学年、中学校第1～2学年を対象とした学力・学習状況調査を実施し、全国の同学年と比較した学力状況等を把握するとともに、学年毎の経年変化を追跡・分析し、授業改善や個に応じたきめ細かい指導に活用する。 結果分析により、学習指導上の課題や学力向上施策の効果を検証し、施策の改善を図る。	73,862

#### 《「教える技術(授業力)」の向上》

H28	H29	H30	H31	H32
学習指導のスタンダードの徹底(再掲)		改訂版スタンダードの普及・徹底(再掲)		
		新指導要領を踏まえた改訂版の作成(再掲)		
授業改革推進リーダー・推進員の配置				
県教委からの指導主事派遣による課題校の改善と授業改善の中核となる教員の配置				
効果的な取組の普及・拡大				
教員の事務作業等を軽減する取組の推進				
		教科指導エキスパートの派遣による中学校の教科指導改善		
		外部機関と連携した教員の意識改革・指導力の向上		
		活用型学力を育成するための授業改善の研究		

<b>H29の進捗</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業改革推進リーダーの配置等により、学習指導のスタンダードの徹底や地域の授業改善、校内指導体制の確立を進めている。（再掲）</li> <li>○ 学校への継続的な指導主事の派遣、教師業務アシスタント等の支援員の活用、効果的な実践事例の普及・拡大等により、授業改善や校内指導体制の確立が進んでいる。</li> <li>○ 時間外業務の縮減に向けて、「働き方改革プラン」を策定し、時間管理の徹底や事務業務の精選等に取り組んでいる。</li> </ul>

**最重点事業**

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
外部機関と連携した指導力向上事業 <b>新規</b>	小、中	民間塾等の外部機関の講師から生徒の興味を惹きつける指導法などを学ぶため、教員の研修派遣及び派遣者による成果報告・普及を通じて、教員の意識改革・指導力向上を図る。 民間塾等の有するeラーニング等の研修パッケージを活用し、小中学校教員の採用候補者等に研修機会を提供する。	1,750

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
授業改革推進リーダー・授業改革推進員の配置	小、中	高い指導力を持ち、優れた教育実践を行う教員を所属校のみならず、他校・地域に派遣して県下の授業改善の一層の推進を図るため、授業改革推進リーダー、授業改革推進員を小中学校に配置し、地域の授業改善や校内指導体制の確立を進めるとともに、教科指導に特化した授業改革推進員を中学校に配置し、教科指導力の向上を図る。	- (運営費で対応)
魅力ある授業づくり徹底事業	小、中	学力の向上に向け、重点的に授業の改善を行う学校を指定し、指定校に指導主事を継続的に派遣するとともに、先進県等への中核教員の派遣、県内外の好事例を共有するためのセミナー開催等により、授業改善や教員の指導力向上を推進する。	10,013
教科指導エキスパート派遣事業	中	指導力のある退職教員等を中学校に継続的に派遣し、英語・数学等(計40校程度)の授業の充実に向けた指導・助言を行い、教員の指導力向上を推進する。	
協同的探究学習モデル事業 <b>新規</b>	中	基礎的・基本的な知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力等を育成する授業改善の研究を行い、その実践成果を県内に普及することで、知識を活用する力の育成や学習意欲の向上を図る。(1中学校区を指定)	
岡山大学・香川大学教職大学院への派遣	小、中 中高、特	大学、県市町村教育委員会との緊密な連携の下、現職教員を教職大学院へ派遣し、本県教育課題の解決に資する政策課題を研究させることで、中核的教員の育成と本県教育の充実を図る。	7,065
業務改善加速事業	小、中 高、特	モデル地域、モデル校を中心に、教員の勤務実態の把握や意識改革のための研修等を行い、業務改善を重点的に進め、そこで得られたノウハウを県下全域に普及する。	9,000
教師業務アシスタント配置事業 <b>拡充</b>	小、中	印刷や調査統計などの教員が抱える事務作業等を支援する非常勤のアシスタントを配置し、教員が本来の教育活動に専念できる環境の整備充実を図る。 【拡充内容】配置校121校→162校	123,762
部活動指導員配置事業 <b>拡充</b>	中	教員に代わって部活動指導を行う非常勤職員(指導員)を配置することにより、中学校教員の負担軽減と部活動の充実、活性化を図る。 【拡充内容】指導員配置 50人→100人 文化部も配置対象にする	23,529

# 《優れた人材の確保等》

H28	H29	H30	H31	H32
人物重視の採用の在り方や多様な選考方法についての研究				
教職員の育成・評価システムの推進				
県人材育成基本方針に基づく新たな研修体系の実施	県人材育成基本方針に基づく総合教育センター研修の充実			
	教特法に規定された協議会による指標の策定及び指標を踏まえた教員研修計画の策定	教員研修計画に基づく研修の実施		

### H29の進捗

- 人物重視の採用の在り方や多様な選考方法についての研究、教職員の育成・評価システムの推進については、予定どおり進んでいる。
- 「岡山県公立学校教員等人材育成基本方針」に基づき、キャリアステージに応じた研修に取り組んでいる。
- 教育公務員特例法の一部改正を受け、岡山県・岡山市教員等育成協議会を設置し、協議会での協議を経て、岡山県教員等育成指標及び研修計画を策定した。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
「教師への道」インターンシップ事業	大学生	教職を目指す学生を中心に学校現場での教育活動の体験機会を与え、学校教育への理解を深め、実践的指導力の基礎を身に付ける。	- (運営費で対応)
公立学校教員採用試験	大学生	優れた人材を確保できるように、岡山県公立学校教員採用候補者の選考資料とするため、公立学校教員採用試験を実施する。	7,502

## 平成30年度 研修の主な新規・重点内容等

岡山県公立学校教員等人材育成基本方針及び岡山県教員等育成指標に基づき、キャリアステージに応じた資質能力を向上させるため、平成30年度は次のような研修の新規・重点内容等を県総合教育センターが中心となって実施する。

なお、養成・採用・研修は総合的に取り組んでいることから、養成段階・採用前の自己研鑽も示している。

<b>養成段階</b> 中・高校生<継続> ・児童生徒への放課後等における学習支援ボランティア事業 大学生 <継続> ・「教師への道」インターンシップ事業 ・「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」での学習支援ボランティアの充実 ・動画視聴による学び等	<b>採用前の自己研鑽</b>
<b>若手教員</b>	
○基礎・基本研修（初任者研修、2年目研修、3年目研修） [拡充] ・センターチーム制研修 ・eラーニングによる反転研修 <継続> ・若手教員と先輩教員が共に育つ研修 ・異業種の人からの学び ・「岡山型学習指導のスタンダード」等の活用 ・生徒指導・教育相談の基本的スキル ・障害についての基礎的理解 ・ICTの効果的活用 等 ○発展・応用研修 <b>【新規】・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり ・スマホ・ネット問題への対応と情報モラル教育</b> [拡充] ・道徳の教科化（中学校）への対応 ・小・中・高等学校の英語指導 ・全国及び県学力・学習状況調査の活用 ・主体的・対話的で深い学び	
<b>中堅教員</b>	
○基礎・基本研修（中堅教諭等資質向上研修） <b>【新規】・他校でのジョブ・シャドウイング ・県教育委員会の施策等との連携 ・成果発表会</b> [拡充] ・若手教員と先輩教員が共に育つ研修 ・校種の異なる学校や企業との連携 ・OJT、リーダーシップとチームマネジメント 等 （16年目研修） <b>【新規】・成果発表会 ・校内研修</b>	
○発展・応用研修 <b>【新規】・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり</b> ・スマホ・ネット問題への対応と情報モラル教育 [拡充] ・主体的・対話的で深い学び ・全国及び県学力・学習状況調査の活用 ・道徳の教科化（中学校）への対応 ・小・中・高等学校の英語指導 ・子供同士が支え合う集団づくり <継続> ・特別支援学級における授業力向上	<b>ミドルリーダー</b> ○発展・応用研修 [拡充] ・特別支援教育コーディネーターの実践力向上 <継続> ・学校経営参画力の向上 ・学校全体の授業改善を推進する力の向上 ・生徒指導の校内組織マネジメント ・教育の情報化を推進する体制づくり
<b>ベテラン教員</b> ○発展・応用研修 <b>【新規】・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり</b> <継続> ・中堅・若手教員への指導技術の伝承（講師等）	<b>副校長・教頭</b> ○発展・応用研修 <b>【新規】・グローバル人材の育成</b> <継続> ・不祥事の根絶に向けて [拡充] ・働き方改革の推進 <継続> ・多様な人材活用に向けたマネジメント力向上 <b>校長</b>

自己研鑽・OJT・校内研修

※基礎・基本研修とは、経験年数別研修、発展・応用研修とは、職能研修、教科領域別研修、課題別研修を指す。

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

概要の  
施策の

魅力ある学校  
づくりの推進

学びのチャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と  
思いやりの  
心、健やかな  
体の育成

生涯学習  
環境の整備と  
文化・スポーツ  
の振興

新規・拡充  
事業及び  
廃止事業一覧

資料編





## (4)就学前教育の充実等

幼稚園等の教職員研修の充実などにより、生涯にわたる人格形成の基礎を担う就学前教育の質の向上を図るとともに、小1プロブレムの解消に向け、小学校教育への円滑な接続ができるよう、幼稚園等と小学校との連携を推進します。

### 〈質の高い教職員等の養成〉

H28	H29	H30	H31	H32
市町村が実施する幼稚園教員等を対象とした研修への支援				

#### H29の進捗

- 就学前教育スーパーバイザーの配置等により、保幼小接続スタンダードの徹底や、各市町村における教職員研修及び保幼小接続カリキュラム作成等への支援を進めている。(再掲)
- 家庭との連携による就学前教育の充実に向け、非認知能力育成等に関する保護者向けリーフレットを作成・配付した。(再掲)

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
就学前教育推進プロジェクト(再掲)	保、幼こ、小 教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及、市町村の保幼小接続カリキュラム作成支援、市町村への指導・助言や支援等を行うとともに、幼稚園籍の指導主事のいない市に就学前教育アドバイザーを配置し、市町村の指導体制の充実を図る。	13,056

### 〈小学校教育への円滑な接続〉

H28	H29	H30	H31	H32
保幼小接続スタンダードの徹底(再掲)				
市町村における保幼小接続カリキュラムの作成促進		各市町村での全面实施		
就学前における市町村の早期支援体制構築への支援			市町村への助言	

#### H29の進捗

- 就学前教育スーパーバイザーの配置等により、保幼小接続スタンダードの徹底や、各市町村における教職員研修及び保幼小接続カリキュラム作成等への支援を進めている。(再掲)
- 家庭との連携による就学前教育の充実に向け、非認知能力育成等に関する保護者向けリーフレットを作成・配付した。(再掲)

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
就学前教育推進プロジェクト(再掲)	保、幼こ、小 教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及、市町村の保幼小接続カリキュラム作成支援、市町村への指導・助言や支援等を行うとともに、幼稚園籍の指導主事のいない市に就学前教育アドバイザーを配置し、市町村の指導体制の充実を図る。	13,056

## (5) 活力ある小・中学校づくり

地域との協働関係を生かし、地域の実情を踏まえた魅力あるカリキュラムの導入等について支援を行います。また、設置者である市町村が学校の適正規模化や学校種間の連携の在り方等を検討するに当たって、ニーズや実情を踏まえた指導・助言を行うとともに、学校統合を行う場合、小規模校を存続させる場合、各々について支援を行います。

### 《地域の実情を踏まえた特色ある学校づくり》

H28	H29	H30	H31	H32
		コミュニティ・スクールの充実、学校支援地域本部の導入に関する支援		
		小中一貫教育の導入、義務教育学校の設置に関する指導・助言		

#### H29の進捗

- コミュニティ・スクールについて、導入を目指す5市町村への補助や指導助言を行い、推進を図っている。
- 中山間地域の小規模校における効果的な合同授業や小中連携等、特色ある学校づくりを進める市町村内の小中学校を指定し、ICTの活用による交流活動の研究等、地域の状況に応じて実施する学校の活性化の取組を支援・普及している。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
コミュニティ・スクール推進体制構築事業	小、中	地域住民等が学校運営に参画するコミュニティ・スクールについて、市町村による推進体制づくりを支援し、導入を促進する。	2,240
学校評議員の設置	県立学校	学校運営や教育内容について保護者や地域住民の意向を的確に把握し反映させるため、県立学校において学校評議員制度の充実を図る。	4,651
学校における「地域連携担当」の活動推進	小、中 中等	担当者研修会の実施及び教育支援活動に関する情報提供の機会を設け、地域との結びつきを大切にした開かれた学校づくりの中心的な役割を担う「地域連携担当」の資質向上及び活動の促進を図る。	— (運営費で対応)

### 《小規模小・中学校への支援》

H28	H29	H30	H31	H32
		小規模校活性化モデル校の開発・支援		
		モデル校での成果の普及		
		全体的な人事交流、小規模校や複式学級支援のための教員配置		

#### H29の進捗

- 中山間地域の小規模校における効果的な合同授業や小中連携等、特色ある学校づくりを進める市町村内の小中学校を指定し、ICTの活用による交流活動の研究等、地域の状況に応じて実施する学校の活性化の取組を支援・普及している。(再掲)

### 《小・中学校の統合を検討・実施する市町村への支援》

H28	H29	H30	H31	H32
		市町村訪問等によるニーズの把握や指導・助言		
		統合に伴う教員加配		
		小規模校活性化モデル校の開発・支援(再掲)		
		モデル校での成果の普及(再掲)		
		統廃合の事例の情報収集・提供		

<b>H29の進捗</b>
○ 中山間地域の小規模校における効果的な合同授業や小中連携等、特色ある学校づくりを進める市町村内の小中学校を指定し、ICTの活用による交流活動の研究等、地域の状況に応じて実施する学校の活性化の取組を支援・普及している。（再掲）

## (6) 高等学校段階における教育の充実

生徒数の減少が進む中、学習環境の維持や向上を行い、学校の活力を高めていくことができる県立高等学校の教育体制を整備するとともに、おかやま創生を担う人材やグローバル・リーダー、科学技術の発展を担う人材の育成等に向けて、時代の変化に対応した魅力ある高等学校づくりを推進します。

### 《県立高等学校の教育体制整備》

H28	H29	H30	H31	H32
平成30年度を目途とする教育体制整備実施計画に基づく施策の展開				
高等学校教育研究協議会における研究・協議		平成40年度を目途とする教育体制整備実施計画の策定	平成40年度を目途とする教育体制整備実施計画に基づく施策の展開	

<b>H29の進捗</b>
○ 岡山県高等学校教育研究協議会において研究・協議を行い、平成29年11月には、11回の会議の協議内容をとりまとめた「平成40（2028）年度を目途とする県立高等学校教育体制の整備について（提言）」が提出された。 [提言の構成] Ⅰ 今後の高等学校教育の在り方 Ⅱ 魅力ある高等学校づくりの方策 Ⅲ 高等学校教育の基盤整備の方策

（予算額の単位：千円）

H30の取組	校種等	内容	予算額
高等学校教育体制整備研究推進事業	高	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画(H25. 2. 15)に基づき、高等学校教育体制整備を推進する。	485
岡山県立高等学校教育体制整備実施計画策定事業 <b>新規</b>	高	岡山県高等学校教育研究協議会の提言(H29. 11. 22)を踏まえ、平成40(2028)年度を目途とする岡山県立高等学校教育体制整備実施計画を策定する。	1,205

### 《魅力ある高等学校づくりの推進》

H28	H29	H30	H31	H32
地域のニーズを踏まえた新しい教育システムの導入・教育内容の創設				
高校生への留学支援等による英語活用力の向上 グローバルセミナーの開催⇒国際化に対応した教育の推進(P.32-33)参照				
大学等と連携した国際科学コンテスト参加への支援	国際科学コンテストの指導分野の拡大 ⇒ 科学技術教育の推進(P.34)参照 化学・生物追加			
高校生の基礎学力の定着と、自ら課題を見つけ解決できる力の育成に向けた取組の推進				

## H29の進捗

- 「おかやま創生 高校パワーアップ事業」において、推進校6校により、地域のニーズを踏まえた教育内容の研究を進めている。
- 留学生との交流や英語ディベート等の英語に触れる機会の場の提供、海外留学の支援等により、高校生の英語活用力向上に取り組んでいる。
- チームで課題解決を目指す科学競技会である「サイエンスチャレンジ」に参加した県立高校生が、国際化学オリンピックに日本代表として出場し、銀メダルを受賞したり、国際科学オリンピックを目指したセミナーを実施する「科学オリンピックへの道」に参加した複数の県立高校生が、国内の科学技術コンテストにおいて優秀な成績を収めた。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
学校評議員の設置(再掲)	県立学校	学校運営や教育内容について保護者や地域住民の意向を的確に把握し反映させるため、県立学校において学校評議員制度の充実を図る。	4,651
学校における「地域連携担当」の活動推進(再掲)	県立学校	担当者研修会の実施及び教育支援活動に関する情報提供の機会を設け、地域との結びつきを大切にされた開かれた学校づくりの中心的な役割を担う「地域連携担当」の資質向上及び活動の促進を図る。	— (運営費で対応)
高校生の学力状況の分析	中等、高	コーディネーターを配置し、各校の学力状況を分析し、指導改善方策の検討等を行うことで、高校生の学力向上を図る。	1,215
高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業	高	実践研究校2校において、生徒の学習意欲を喚起し、きめ細かな学習指導ができる指導体制や教材開発についての研究を行い、基礎学力の着実な定着を目指す。また、「高校生のための学びの基礎診断」の導入を踏まえた評価問題を作成実施するとともに、学習指導におけるPDCAサイクルの確立を目指す。	2,500
学力ステップアップハイスクール	高	指定校4校における民間業者と連携した、教育クラウドサービスの活用等による、基礎基本の着実な定着に向けた取組を実施する。	5,245
アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた教員の指導力向上や生徒の学びの場の提供	中等、高	授業改善における各校の中核を担う教員を育成するとともに、高校生を対象に古典を教材として対話を通じ学び合うセミナーを実施することで、主体的に学ぶ人材の育成を図る。	746
合同学習合宿の実施	中等、高	学校の垣根を越えた合同学習合宿を実施することで、リーダー育成を図る。	3,525
学校経営予算	中、中等高	校長が弾力的に運用できる予算制度を設け、校長の裁量権を発揮させることで各学校の教育目標の達成を図る。学校規模等に応じて配分する「基本配分枠」、県が設定した教育課題に取り組む「重点事業枠」により、各学校の事業を推進する。	82,463
おかやま創生 高校パワーアップ事業 <b>拡充</b>	高	次期高等学校教育体制整備実施計画の充実に資するため、地元自治体、企業、大学等との連携により、地域の課題やニーズを踏まえ、おかやま創生を担う人材の育成や地域の活性化に貢献する高校の魅力化を図り、おかやま創生のモデルとして、県下への展開を行う。 【拡充内容】推進校 6校→10校	16,600
遠隔教育システム研究 <b>新規</b>	高	小規模化する学校の活性化、教育活動の充実のため、高等学校2校を遠隔教育システムで結び、システムを活用した効果的な教育実践に向けた調査研究を行う。	4,599



## (7)特別支援教育の推進

特別支援学校においては、複数の障害種に対応した適切な教育ができる体制の整備や子どもたちへの適切な指導・支援の充実を図るほか、高等部における就労支援の充実や域内の特別支援教育を支えるセンター的機能の充実を図ります。

また、小・中・高等学校等においては、特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりや学級づくりを通じ、発達障害を含めた特別な支援を必要とする一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実や教員の指導力の向上を図り、子どもたちが達成感や成就感を持ち、学習意欲を高めることができるようにします。また、就学前から卒業後までを一貫して支援できるよう関係機関と連携体制の整備を図ります。

今後、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築の理念に基づきながら、取組の充実を図ります。

### 〈特別支援学校の教育の充実〉

H28	H29	H30	H31	H32
特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率の向上				
特別支援学校技能検定(PC・清掃・接遇)の実施、流通プレ検定の実施	パソコン・清掃・接遇サービス・オフィスアシスタント検定の実施			
センター的機能の強化・充実				

#### H29の進捗

- 特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率については、免許法認定講習の実施などにより、計画を上回るペースで向上している。
- 特別支援学校技能検定について、パソコン・清掃・接遇サービス・オフィスアシスタントの4種別の本実施を行った。
- 就労支援コーディネーターの活用やジョブマッチング等の取組により、就労の割合は目標を上回った。
- 外部専門家の活用や研修会等の実施により、特別支援学校の専門性の向上やセンター的機能の充実を図った。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
免許法認定講習	小、中等、高特	特別支援学校教諭免許状取得に必要な単位を修得できる講習を実施し、特別支援学校に勤務する教員及び特別支援学級を担任する教員等の資質の向上を図る。	2,802
医療的ケア充実事業	特	特別支援学校において、吸引や経管栄養等の日常的医療的ケアに係る看護師及び教員等の専門性を高めることにより、医療的ケアの実施体制の充実を図る。	1,038
学校における医療的ケア実施体制構築事業 <b>新規</b>	特	人工呼吸器等を使用している児童生徒に対応するため、特別支援学校における高度な医療的ケアの実施体制整備について、モデル校を指定して研究を行う。	1,985
岡山県就労・生活支援研究協議会	特	教育・労働・事業所等の連携により、就労による社会自立や障害の重い生徒に対する支援方策の在り方について検討する。また、高等部1・2年生が複数の企業担当者と直接話をする機会として、「ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～」を開催する。	721
可能性にチャレンジ～特別支援学校技能検定～	特	生徒が目標を持って取り組むことができる技能検定を企業団体と連携して企画・開発し、県下の特別支援学校で実施することで、特別支援学校のキャリア教育の充実を図る。	566
特別支援学校における新しい教育課題研究事業	特	学習指導要領の改訂やインクルーシブ教育システムの構築など特別支援学校においても新しい教育課題への対応が求められていることから、指定校において情報教育や交流及び共同学習等に関する実践研究を行う。	564

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業	特	近年、特別な支援を必要とする児童生徒が抱える問題も多様化・複雑化していることから、臨床心理士をスクールカウンセラーとして特別支援学校に配置し、生徒・保護者へのカウンセリングや教職員への助言を行い、教育体制の充実を図るとともに、必要に応じてスクールソーシャルワーカーを派遣する。	2,984
ジョブ支援員の活用	特	企業における就労体験において、生徒の実態に応じ、必要な個別支援を行うジョブ支援員を活用する。	365
特別支援学校経営予算	特	校長の裁量権の拡大や経営能力の向上を図るとともに、特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりを推進し、学校教育の質の向上を図る。	9,132
高等支援学校等就労支援充実事業	中等高、特	企業における障害者雇用担当経験者等を就労支援コーディネーターとして拠点校に配置し、高等支援学校及び特別支援学校生徒の職場実習先や就労先の開拓を進めるとともに、地域の就労支援の拠点として、高等学校における特別な支援を必要とする生徒の就労等に関する支援を行う。	11,967

### 《小・中学校、高等学校等における特別支援教育の充実》

H28	H29	H30	H31	H32
	「個別の教育支援計画」等の作成の徹底 ⇒ 研修会での周知徹底等により学校等における作成を促進	「個別の教育支援計画」等の引継ぎ及び活用の徹底		
	就学前における市町村の早期支援体制構築への支援(再掲)		市町村への助言(再掲)	
	通常学級における授業のユニバーサルデザインの考えに基づく授業づくりや学級づくりの徹底			
	通常学級における特別支援教育ブロックリーダーの養成			
	通常学級における特別支援教育ブロックリーダーの活用			
	高等学校における生徒の特性に応じた指導・進路指導の充実			
		高等学校における通級による指導の実施		

#### H29の進捗

- 個別の教育支援計画等の作成率は全校種で上昇しており、作成率100%に向けさらに取組を進めるとともに、作成した個別の教育支援計画等の引継ぎや活用について周知を図った。
- 専門指導員や就学前支援コーディネーターを幼稚園等に派遣し、ケース会議や研修会等を行った。
- 5名のブロックリーダーが地域内の小・中学校で巡回指導や研修会等を行い、授業改善や好事例の普及を図った。
- 国の委託事業を受け、高等学校における通級による指導について、必要な教育内容等の研究を行うなど、平成30年度からの導入準備を行った。

### 最重点事業

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
一人一人が笑顔に！就学前からの発達支援事業	幼、保、こ	幼稚園・保育所等において、4歳児を対象とした発達障害等の可能性のある子どもの早期発見・把握を行うとともに、専門指導員（特別支援学校教員）や就学前支援コーディネーターを派遣して適切な指導・支援を行い、就学前段階における取組が充実した市町村の拡充を図る。	3,896

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
専門指導員派遣事業	幼、保 こ 小、中 中等、高 特	専門指導員を派遣して指導・助言を行うことで、県内の小・中学校等に在籍する特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援体制の整備を図る。	920
通常学級における特別支援教育ブロックリーダーの活用	小、中	小・中学校教員を国立特別支援教育総合研究所へ派遣し、特別支援教育ブロックリーダーとして養成するとともに、養成したブロックリーダーによる校内及び地域内の学校への指導・助言等により、通常学級等における特別支援教育の充実を図る。	— (運営費で対応)
中学校特別支援学級指導パッケージ充実事業	中	中学校特別支援学級において、自立活動エキスパートがモデル校を巡回指導し、県教育委員会が作成した発達障害等のある生徒への基本的な指導パッケージを活用・普及することで、中学校における特別支援教育の充実を図る。	1,826
高等学校における多様な学びの場充実事業 <b>新規</b>	中等、高	拠点校となる高等学校に教員を配置し、通級による指導(自校及びサテライト形式での巡回による指導)を行うとともに、校内研修会等により教員の特別支援教育に関する専門性の向上を図る。	1,688
高等支援学校等就労支援充実事業(再掲)	中等 高、特	企業における障害者雇用担当経験者等を就労支援コーディネーターとして拠点校に配置し、高等支援学校及び特別支援学校生徒の職場実習先や就労先の開拓を進めるとともに、地域の就労支援の拠点として高等学校における特別な支援を必要とする生徒の就労等に関する支援を行う。	11,967
県立高等学校等への特別支援教育支援員の配置	中、中等 高	県立高等学校等に在籍する障害のある生徒に対し、障害の程度に応じ、特別支援教育支援員を配置し、学校生活上の介助等の支援を行う。	11,191

## 《インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の充実》

H28	H29	H30	H31	H32
合理的配慮				
趣旨の周知	好事例の収集	好事例の周知による市町村等への取組支援	全県への普及	
交流及び共同学習等の先進的な取組の研究			全県への普及	
特別支援教室の拡充			全県への普及	

### H29の進捗

- 合理的配慮の提供について、各種研修会等において理解啓発を図った。
- 交流及び共同学習について、モデル校1校を指定し実践研究を行った。
- 特別支援教室の実施校を小学校8校から小学校9校・中学校1校に拡充し、指導内容や指導方法の研究を行った(H26～29で12校に設置)。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
特別支援教育教育課程等協議会	幼、保 こ 小、中 中等 高、特	特別支援学校学習指導要領の改訂やインクルーシブ教育システム構築に向けたポイント、特別支援教育の推進に関する課題等について協議することにより、教職員の指導力の向上と教育課程の改善を図る。	115
広域特別支援連携協議会	幼、保 こ 小、中 中等 高、特	医療、保健、福祉、労働、司法、教育等の関係部局、大学、医師会及び親の会が相互の連携を図り、特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対し総合的な教育的支援を行うことを目的とした協議会を開催する。	113
多様な学びの場「特別支援教室」事業	小、中	連続性のある多様な学びの場として「特別支援教室」を小中学校に4校程度拡充して設置し、通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に、自立活動の視点での教科の個別指導を実施する。	373

新晴れの国おかも  
生き生きプラン第2次岡山県教育  
振興基本計画諸課題に対する  
県の支援策施策の  
概要魅力ある学校  
づくりの推進学びのチャレンジ  
精神の育成家庭・地域の  
教育力の向上規範意識と思いやりの  
心、健やかな体の育成生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編

H30の取組	校種等	内容	予算額
特別支援学校における新しい教育課題研究事業 (再掲)	特	学習指導要領の改訂やインクルーシブ教育システムの構築など特別支援学校においても新しい教育課題への対応が求められていることから、指定校において情報教育や交流及び共同学習等に関する実践研究を行う。	564

## 各教育段階ごとの特別支援教育の充実

### 幼稚園・保育所

★発達障害等のある子どもの早期発見・早期対応と小学校段階への円滑な接続

【継続】

◎一人一人が笑顔に！就学前からの発達支援事業

- 幼稚園等による4歳児観察
- 特別支援学校専門指導員等による見立て
- 要支援児の指導・支援方針の検討・決定
- 会議で決定した指導・支援方針に基づく日常的な支援
- 小学校への確実な引継ぎ

### 小学校・中学校

★通常学級における特別支援教育の指導力の向上と高い実践力を持った教員の養成

★授業のユニバーサルデザイン化と児童生徒の多様性を踏まえた学級づくり

★多様な学びの場づくり

#### 小中学校における学びの場



【継続】

◎通常学級における特別支援教育ブロックリーダーの活用

- 特総研等への派遣によるブロックリーダーの養成
- ブロックリーダーによる校内及び地域内の学校への指導・助言等

◎多様な学びの場「特別支援教室」事業

- 自立活動の視点での教科の個別指導
- 授業のユニバーサルデザイン化

◎中学校特別支援学級指導パッケージ充実事業

- 自立活動の指導内容を標準化した「指導パッケージ」の普及・活用
- 自立活動エキスパートによる巡回指導

### 高等学校

★障害特性に応じた指導

★高等学校における通級指導の実施

★進路指導の充実による確実な就労支援

【新規】

◎高等学校における多様な学びの場充実事業

- 拠点校を中心に、ニーズのある学校で通級指導を実施
- 通級指導担当教員の育成

<その他の取組>

◎特別支援学校に配置する就労支援コーディネーターによる就労先等の開拓[高等支援学校等就労支援充実事業]

◎高等支援学校専門指導員等による社会人としてのソーシャルスキルトレーニング等の指導[専門指導員派遣事業]

### 特別支援学校

★発達障害を含む様々な障害や新たな課題に対応するための指導力の向上

★就労支援体制とキャリア教育の充実

★特別支援教育のセンター的機能の充実

【継続】

◎特別支援学校における新しい教育課題研究事業

- 教育課程、授業づくり、キャリア教育、交流及び共同学習、情報教育に関する実践研究

◎高等支援学校等就労支援充実事業

- 就労支援コーディネーターによる就労先等の開拓と高等学校への支援

◎可能性にチャレンジ

～特別支援学校技能検定～

- PC技能・清掃・接遇サービス・オフィスアシスタントに関する検定の実施

◎ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～

- 特別支援学校高等部生徒が複数の企業担当者と直接話す機会の提供

◎専門指導員派遣事業

- 小・中学校等への指導・助言を行うため、特別支援学校教員を派遣

【新規】

◎学校における医療的ケア実施体制構築事業

- 人工呼吸器等、高度な医療的ケアを必要とする児童生徒のための体制整備に関する研究事業



就学前段階

義務教育段階

高等学校段階

個別の教育支援計画等の作成・活用による合理的配慮の提供及び情報の引継ぎ

指導・助言（センター的機能）

特別な支援を必要とする子どもの自立と社会参加

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

施策の  
概要

魅力ある学校  
づくりの推進

学びのチャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と思いやりの  
心豊かな体の育成

生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興

新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編



## (8)大学等との連携

専門的な知見・資源を有する大学等高等教育機関や企業、公益法人やNPOなど民間団体等と連携を図り、学校や地域における子どもたちの学習活動の充実に努めます。

### 《大学等との連携》

H28	H29	H30	H31	H32
高大連携の促進				
インターンシップ・ボランティアへの参加の周知と働きかけ	インターンシップ・ボランティアへの参加促進			
県人材育成基本方針の教職課程への反映	全大学への普及（基本方針の計画期間（～H32）内での実施を目指す）			
県人材育成基本方針で求める資質能力の教育実習の評価への導入	全大学での教育実習での評価の反映（基本方針の計画期間（～H32）内での実施を目指す）			
社会教育施設等での科学体験機会の提供	連携大学等の拡充			
教特法に規定された協議会による指標の策定及び指標を踏まえた教員研修計画の策定（再掲）	教員研修計画に基づく研修の実施（再掲）			

#### H29の進捗

- 高大連携を実施している高等学校の割合は、平成28年度86.8%で連携の取組が進んでいる。
- インターンシップ・ボランティアへの参加について、ホームページや大学での説明会などで周知や働きかけをおこなった。
- 教育公務員特例法の一部改正を受け、岡山県・岡山市教員等育成協議会を設置し、協議会での協議を経て、岡山県教員等育成指標及び研修計画を策定した。
- 人と科学の未来館サイピアで岡山理科大学と連携し、科学体験機会の提供を行った。

（予算額の単位：千円）

H30の取組	校種等	内容	予算額
「教師への道」インターンシップ事業（再掲）	大学生	教職を目指す学生を中心に学校現場での教育活動の体験機会を与え、学校教育への理解を深め、実践的指導力の基礎を身に付ける。	— （運営費で対応）
岡山県生涯学習大学事業	一般	主催講座として、学んだ成果を地域活動に生かすための実践的な講座を開設するとともに、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、総合的な学習機会を提供する。	5,383
岡山県・岡山市教員等育成協議会	—	教育公務員特例法に基づき、岡山市と合同で協議会を設置し、県内大学等と県内公立学校等の校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項について、協議を行う。	243

### 《企業等との連携》

H28	H29	H30	H31	H32
子ども応援人材バンクの登録・活用促進				
		「人材バンク活用のススメガイド」の普及		

#### H29の進捗

- 子ども応援人材バンクについては、企業訪問等を積極的に行い、登録団体の拡充や活用の促進を図った。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
子ども応援人材バンク	幼、こ小、中中等、高特、一般	身近な地域では得られにくい企業や団体等を学校の応援団として募り、学校へ紹介する。	— (運営費で対応)

## (9)子どもたちの安全の確保

子どもたちが災害に適切に対応できる実践的な態度や能力を養うため、防災教育や避難訓練の充実を図ります。

また、不審者情報等の積極的な提供や、防犯教室の開催等により児童の危険回避能力を高める取組を進めるとともに、防犯設備・機器の普及促進や自主防犯活動に対する支援を図るなど、学校内外で子どもたちが安全に過ごすことができる環境の整備に向け、地域のボランティアや関係機関等との連携による地域ぐるみの取組を推進します。

### 《防災教育の充実》

H28	H29	H30	H31	H32
防災教育に係るモデル研究の推進・取組の普及				
避難訓練指導資料等の充実・普及				

#### H29の進捗

- モデル校で新たな指導方法や教育手法の開発を行っており、成果の普及を進めている。
- 避難訓練指導資料等については、ホームページへの掲載や担当者研修会での呼びかけ等により、学校での活用促進を図っている。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
学校安全総合支援事業	幼、こ小、中中等、高、特	自然災害や登下校中の交通事故、学校内外における不審者による事件等、地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、連携して積極的に取り組む地域や学校を支援する。	5,163
高校生「地域防災ボランティアリーダー」養成事業	中、中等高	災害発生時に高校生が救援活動等ができる実践力を身に付け、社会貢献できる人材を育成することを目的に、日本赤十字社等と連携し、搬送訓練や炊き出し訓練などをメニューとした研修を実施する。	231

### 《安全な環境整備等の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
交通安全教材の活用促進				
地域ボランティアや関係機関との連携				

#### H29の進捗

- 県下の全公立小・中・高等学校において、交通安全教材「セーフティーサイクル・ステップアップ・スクール」を活用した取組を行うとともに、関係機関との連携を進めた。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
学校安全教室推進事業	幼、こ小、中中等、高、特	実践的な安全教育・安全管理を推進することができるよう、防犯教室や地域安全マップの指導者等に対して学校安全教室推進研修会を開催し、学校安全を推進する。	411
県立学校の長寿命化改修	高、特	老朽化した学校施設の環境改善（環境整備）を目的とした長寿命化改修工事を実施し、学校施設の経年劣化の改善や機能向上等を推進する。	1,977,486



# 中学校家庭学習習慣改革宣言！ 「Stop! スマホ Start! スタディ！」

岡山県教育委員会

## 【家庭学習 1・2・3】

1 自分で決めた時刻には勉強を始めます。

2 目標の学習時間を守ります。

3 学習中は、スマホには触りません！

これまで、岡山県では

### 3つの取組を進めてきました！

- 保護者が午後9時以降はスマホを預かりましょう。
- ゲームも午後9時までとしましょう。
- 学校でスマホなどについて考える場を設けましょう。



岡山県マスコット「ももっち」

スマホ使用に当たって、生徒会を中心に自主的にルールが設定されるなど、取組の輪が広がっています。

しかし、全国及び岡山県学力・学習状況調査結果から、岡山県の中学生の課題が明らかになりました。

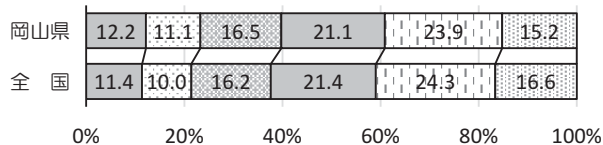
県生徒指導推進大会  
AYAMAスマホサミット2017成果報告会  
岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞社



OKAYAMA スマホサミット2017

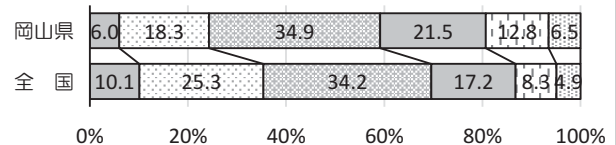
Q: ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

- 4時間以上
- 3～4時間
- 2～3時間
- 1～2時間
- 1時間未満
- 全くしない



Q: 学校の授業時間以外で、ふだん(月～金曜日)1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

- 3時間以上
- 2～3時間
- 1～2時間
- 30分～1時間
- 30分未満
- 全くしない



平成29年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙において、ゲームを「1時間以上」行くと回答した生徒の割合は全国平均を上回っており、さらに「3時間以上」行っている割合も高いことがわかりました。一方で、家庭学習に「1時間以上」取り組む生徒の割合は全国平均を大きく下回っています。



## 《ICTの利活用》

H28	H29	H30	H31	H32
	県総合教育センターでのICTを活用した授業改善等に関する研修講座の充実	各学校におけるICTを活用した研修の充実		
	ICT活用好事例集の作成	全県普及		
	プログラミングに興味・関心がある生徒の増加に向けた取組の推進			

### H29の進捗

- 小学校におけるプログラミング教育の導入を見据え、指導法に関する教員研修を開催している。
- ICTを活用した授業改善等に関する研修講座の充実により、教員のICT活用指導力の向上に取り組んでいる。
- 県総合教育センターによる情報モラルを指導する中核となる教員を育成するための研修講座を実施している。
- 発達段階に応じたICT活用好事例の研究とその成果のとりまとめを行い、ICT活用好事例集（Webサイト版）を作成した。

（予算額の単位：千円）

H30の取組	校種等	内容	予算額
県立学校のICT基盤の整備	県立学校	インターネットやICT機器を活用した授業が展開できる環境を整備し、ICT教育の利活用に資する。（情報教室の整備、ICT機器の整備、ネットワーク環境の整備・維持等）	268,064
プログラミングコンテストへの道	中等、高	高校生を対象に著名なプログラマー等の講演会を実施し、生徒の興味関心を喚起するとともに、専門的技術向上のための講座開設等を行う。	2,650

## 《子どもの意欲やチャレンジ精神の喚起》

H28	H29	H30	H31	H32
	チャレンジ問題の提供・活用促進	望ましい生活習慣・学習習慣の確立に向けた取組の推進（指定校での実践・成果の普及）（再掲）		

### H29の進捗

- 学びのチャレンジコンテストにおいて、小学生から問題のアイデアや、小中学生からの自主学習ノート、学習習慣・生活習慣に関する取組等を募集し、紹介している。
- 中学生の授業以外での学習時間の増加に向け、学習習慣の確立と学習時間の確保、スマホの使用ルールの設定を通じて、望ましい生活習慣・学習習慣の確立に向けたルールの徹底を図るキャンペーンに、PTA・市町村教委・学校を通じて取り組んでいる。（再掲）

（予算額の単位：千円）

H30の取組	校種等	内容	予算額
学習習慣形成事業－PTAとの連携強化－（再掲） <b>新規</b>	中、中等	中学校区又は中学校7箇所（単年指定）をモデル校に指定し、PTAとの連携の下、家庭学習の実践ルールの徹底に向け、宿題の出し方、部活動と学習時間との関係などの視点から学習習慣定着に取り組むとともに、実践成果を県下へ普及する。	1,000

## (2)国際化に対応した教育の推進

グローバル人材の育成の基盤となる語学力、コミュニケーション能力、優れた国際感覚、国際理解の精神を備えた人材の育成を目指し、子どもたちが英語に触れる機会の増加、高校生の海外留学等の促進及び英語教育の充実による英語活用力の向上を図ります。

併せて、日本人としてのアイデンティティを持ち、我が国や郷土の伝統・文化を深く理解し、その継承・発展に努め、世界に発信する姿勢を育みます。

### 《児童生徒の英語力の向上》

H28	H29	H30	H31	H32
小学校英語の教科化に対応した研修の実施 ⇒ 優れた人材の確保等参照 先行実施による実践モデルの収集・情報提供 → 教科化の全面実施				
高校生への留学支援等による英語活用力の向上(再掲) グローバルセミナーの開催				
外部専門機関と連携した教員の英語指導力強化 高大接続改革に対応した教員の英語指導力強化				
スーパーグローバルハイスクール(SGH)指定校を核とした英語教育の推進 SGHの成果の普及				
留学コーディネーター配置等による海外姉妹校提携拡大と高校生の留学の促進				
国際バカロレアに関する調査・研究 → 国際バカロレアの趣旨を踏まえた教育の推進				
英会話スクール等民間の力を活用した教員の英語力や英語指導力向上研修の実施				
「G7倉敷宣言」の趣旨を踏まえたグローバルな視点から教育できる教員の養成(教員の海外派遣等)				
教科指導エキスパートの派遣による中学校の教科指導改善(再掲)				

#### H29の進捗

- 民間と連携した教員の英語指導研修や外部検定試験の受験促進等により、英語力・英語指導力を身に付けた教員の育成を進めている。
- 留学生との交流や英語ディベート等の英語に触れる機会の場の提供等により、高校生の英語活用力向上に取り組んでいる。
- 「留学コーディネーター」を配置し、海外姉妹校提携の拡大や高校生の留学促進に取り組んでいる。
- 国の指導力向上研修を修了した英語教育推進リーダーによる研修等により、教員の英語指導力強化に取り組んでいる。
- スーパーグローバルハイスクール指定校における課題研究発表等を通じて、英語教育を含む成果の普及に取り組んでいる。
- 国際バカロレアに関する調査・研究委員会から、国際バカロレアの有効性は認めるが、導入に係る課題は大きく、直ちに導入することは難しいことや、引き続き国際バカロレアの教育効果に関する研究や導入可能性の検討が必要であるとの報告書が提出された。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
スーパーグローバルハイスクール事業 <b>拡充</b>	高	国際化を進める国内の大学を中心に、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材を育成するためのカリキュラム開発・実践やその体制整備を行う。 また、留学経費の一部を支援する。 【拡充内容】留学支援に係る経費	14,403

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
高校生留学支援事業 <b>拡充</b>	中等、高	生徒の留学を促進することを目的として、留学体験談を聴いたり、留学促進のための講演会を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一部の支援を拡充して実施する。 また、留学コーディネーター配置等による海外姉妹校提携の拡大や高校生の留学促進を図る。	18,546
国際バカロレア (IB) の趣旨を踏まえた教育の推進 <b>新規</b>	中、中等高	IBの教育プログラム等を研究し、その趣旨を踏まえた教育活動の実践とカリキュラム開発を行うとともに、IBワークショップへの教員派遣等により、グローバルな視点から教育できる教員を育成するほか、高校生の幅広い話題について抽象的な内容が理解でき、外国の人と流暢にやりとりができる能力の習得を目指す。	3,465
外部専門機関と連携した英語担当教員の指導力向上事業	小、中 中等、高	小・中・高等学校を通じた英語教育の強化のため、大学等と連携して研修等を行い、小・中・高等学校の英語教育推進リーダーを育成するとともに、英語教員の指導力向上を図る。	1,658
英語指導パワーアッププロジェクト	小、中 中等、高	小学校教員へのネイティブ・スピーカー等による英会話体験研修と、中学校・高等学校英語担当教員への英語活用研修を、英会話スクール等民間の力を活用して実施し、教員の英語力と英語指導力の向上を図る。	10,642
外国語教育指導強化対策事業	中、中等高	外国語教育及び国際理解教育の一層の充実を図ることを目的として、外国語指導助手 (ALT) を県立学校に計画的に派遣するとともに、韓国慶尚南道との交流を通じ、中学生を対象とした国際交流を推進する。	89,162
教科指導エキスパート派遣事業 (再掲)	中	指導力のある退職教員等を中学校に継続的に派遣し、英語・数学等 (計40校程度) の授業の充実に向けた指導・助言を行い、教員の指導力向上を推進する。	2,832
小学校英語授業充実拠点校事業 <b>新規</b>	小	小学校英語の教科化等に向け、拠点校6校において新教材を効果的に活用した授業づくりを推進し、成果を普及することで、教員の指導力向上を図る。	1,180
中学生英語4技能育成研究事業	中	英語4技能 (聞く・話す・読む・書く) を測定する試験を実施し、その結果に基づく授業改善を推進する。	8,020

**《グローバル社会で求められる能力の育成》**

- ・豊かな英語力・コミュニケーション能力
- ・チャレンジ精神や異文化を理解する精神
- ・迅速に決断し、主体的に組織を動かすリーダーシップ

**海外留学の促進**  
H28:243人→H32:400人以上

**グローバル教育の実践に向けた教育体制の整備**

**拡充**

**岡山の高校生留学支援事業**

留学意欲の喚起、経費負担の軽減  
→留学支援金の支給

- ・長期留学支援金の増額  
30万円 → 50万円
- ・留学支援金の対象者の拡充  
短期留学者支援 43人 → 62人  
姉妹校留学支援 1人 → 3人

**+**

留学につながる環境づくり  
→海外の学校との姉妹校提携促進

- ・留学コーディネーターによる姉妹校提携先の開拓、締結支援  
H28:8校 → H32:20校
- ・姉妹校提携を締結するための渡航費用の追加

**スーパーグローバルハイスクールの取組**

- ・探究学習の充実
- ・スーパーグローバル大学との連携
- ・海外研修の実施

**新規**

**国際バカロレア (IB) の教育手法の研究**

- ・研究協力校 (2校) における取組
- ・IBの教育プログラム等の研究及び、その趣旨を踏まえた教育活動の実践とカリキュラム開発
- ・IBのワークショップへの教員派遣、先進校視察により、教員を育成
- ・外国語能力の評価のための共通参照枠 (CEFR) に基づき、外部検定を活用して生徒の英語コミュニケーション能力の到達度を測定し、その結果に基づいた授業改善等を推進

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

施策の  
概要

魅力ある学校  
づくりの推進

学びのチャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と思いやりの  
心、健やかな体の育成

生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興

新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編

## 《我が国や郷土の伝統・文化を理解する教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
道徳教育副読本の作成	道徳教育副読本の活用促進 授業での実践から得られた好事例の共有			

### H29の進捗

○県小学校教育研究会主催の研修会において、岡山県道徳教育郷土資料集（小学校）を活用した実践発表を実施し、好事例の共有を図った。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
道徳教育総合支援事業 <b>拡充</b>	幼、こ小、中 中等、高	道徳の教科化に向け、指導方法の工夫、教科書の内容や活用の在り方、評価方法等に関する研修会を開催するとともに、拠点校（10校）事業を新たに実施し、中学校の道徳の授業改善を推進するなど、道徳教育の充実を図る。	3,910

## (3) 科学技術教育の推進

小・中・高等学校の理科教育において、大学等とも連携して子どもたちの科学や自然に対する興味と関心を高め、豊かな科学的素養を育み、それらの知識や技能を実生活に活用できる力を育てるなど、科学技術教育の推進を図ります。

## 《科学技術教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校を核とした理数教育の推進 SSHの成果の普及				
大学等と連携した国際科学コンテスト参加への支援(再掲)	国際科学コンテストの指導分野の拡大(再掲) 物理に加え、化学・生物でも実施			

### H29の進捗

- サイエンスチャレンジの実施やSSHの研究成果の普及により、SSH指定校を核とした理数教育の推進に取り組んでいる。
- チームで課題解決を目指す科学競技会である「サイエンスチャレンジ」に参加した県立高校生が、国際化学オリンピックに日本代表として出場し、銀メダルを受賞したり、国際科学オリンピックを目指したセミナーを実施する「科学オリンピックへの道」に参加した複数の県立高校生が、国内の科学技術コンテストにおいて優秀な成績を収めた。
- 「科学オリンピックへの道」では、複数分野での国際科学オリンピック出場を目指し、物理だけでなく、化学や生物のセミナーを実施した。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
スーパーサイエンスハイスクール事業	高	理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携方策について研究する。	5,463
科学オリンピックへの道	中、中等 高	理数への興味・関心の高い中高生を対象としたコンテストやセミナーを開催し、国際科学オリンピックへの出場を目指す。	952
サイエンスチャレンジ	中、中等 高	理数に興味関心が高い中・高校生に対し、理科・数学等の複数分野のチーム対抗の競技会を開催し、団体で協力して課題に取り組む機会を設け、更なる興味関心の高揚及び学力の向上を図る。	2,943
理科教育等設備整備事業	県立学校	各学校の理科教育等設備を国庫補助により整備し、県立学校の理科教育の振興を図る。	20,000



### 3 家庭・地域の教育力の向上

#### (1) 家庭の教育力を高めることによる、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着

保護者に対して家庭教育に関する情報や学習機会の提供を行うとともに、家庭訪問や電話等による相談体制の強化に努め、すべての教育の出発点である家庭の教育力を高めることで、子どもたちの規則正しい生活習慣と学習習慣の定着を図ります。

#### 〈家庭教育に関する情報や学習機会の提供〉

H28	H29	H30	H31	H32
		「親育ち応援学習プログラム」ファシリテーター(進行役)の養成・スキルアップ		
		家庭学習の充実に向けた保護者啓発の推進		

#### H29の進捗

- ファシリテーターのレベルアップを目指した研修を実施するとともに、市町村での養成を支援した。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
子育てサポーターリーダー養成講座	一般	家庭教育に関する専門的知識やカウンセリングに関する知識・技術の習得を目指した講座を実施することで、子育てサポーターリーダーを養成する。	— (運営費で対応)
親育ち応援リーダースキルアップ講座	一般	「親育ち応援学習リーダー養成講座」の修了生や「親育ち応援学習プログラム」を活用している家庭教育関係者が一堂に会して交流や情報交換を行い、ファシリテーターのスキル向上やネットワークの構築を図る。	— (運営費で対応)
「おかやま教育の日」関連事業	幼、こ小、中 中高、特	11月1日の「おかやま教育の日」から始まる「おかやま教育週間」(11/1~7)を中心に、県下全域で教育に関する様々な取組を展開し、教育に関する県民の意識高揚を図る。	— (運営費で対応)
家庭向け教育情報誌「こころのわ」の発行	保護者	家庭向け教育情報誌「こころのわ」を発行し、本県の教育に関する情報提供を行い、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。	1,674

#### 〈家庭教育に関する相談体制の強化〉

H28	H29	H30	H31	H32
	家庭教育支援チームの活動推進に向けた研究	全県展開 好事例の収集・分析・普及		

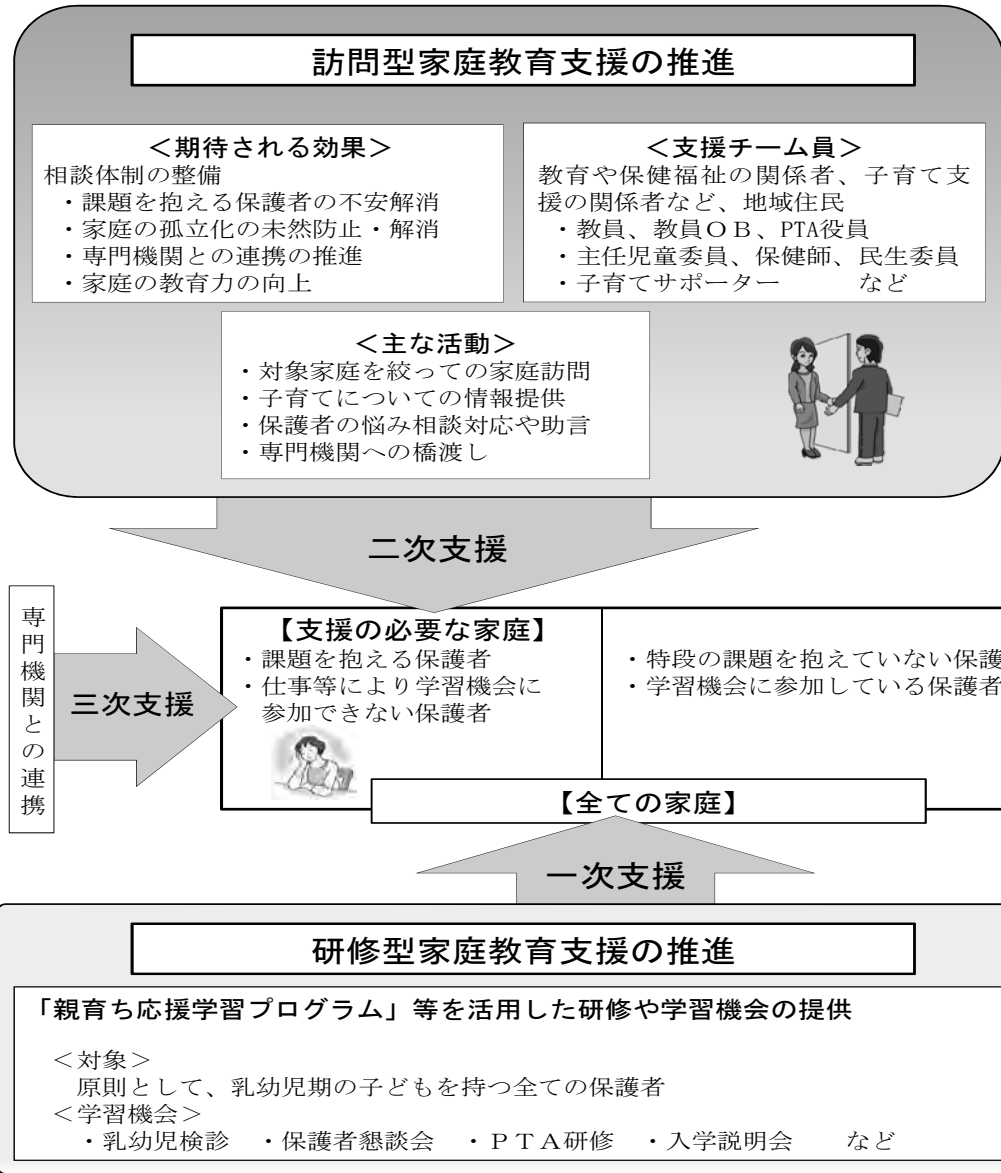
#### H29の進捗

- 平成30年度から家庭教育支援チームが全県展開できるよう、実施上の重要なポイントである「家庭教育支援チームの組織と活動の在り方」と「保健福祉との教育との連携を適切に進める方策」をとりまとめ、市町村へ提供した。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
訪問型家庭教育支援推進事業 <b>新規</b>	保護者	家庭教育支援チームを結成し、課題を抱える家庭を訪問することにより、家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援を行うとともに、必要に応じて関係機関に繋ぐことで家庭の課題解決を図る。	2,534
すこやか育児テレホン事業	保護者	電話と電子メールで、いつでも、どこからでも気軽に相談できる体制を整備し、子育てに関する不安や悩みを持つ親等を支援する。	6,690

# 就学前の家庭教育支援



## (2) 地域住民の参画による学校教育支援、家庭教育支援等の取組と推進

地域住民の参画による学校教育支援、放課後等の活動支援、家庭教育支援を効果的に推進し、地域ぐるみで子どもを健やかに育むとともに、学校・家庭・地域の教育力の向上を図ります。このため、学校と地域との連絡調整を行うコーディネーターや地域で子育てを支援する人材の発掘・育成に努めます。

### <学校教育支援、放課後等の活動支援、家庭教育支援の効果的な推進>

H28	H29	H30	H31	H32
		中核的コーディネーターの育成	市町村での中核的コーディネーターの育成促進	
		中核的コーディネーターの活用促進		
学校支援地域本部の全中学校区への拡充	学校支援地域本部の量的・質的拡充			
放課後子ども教室等の全小学校への拡充			放課後子ども教室等のさらなる内容の充実	
事例集による好事例の普及				

<b>H29の進捗</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○中核的コーディネーターを育成するための講座を実施した。</li> <li>○市町村への働きかけ等により、放課後子ども教室等の小学校への設置を推進した。</li> </ul>

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
P T A指導者研修会	保護者	P T Aの指導者を対象に、子どもたちを取り巻くネット問題等をテーマに学習機会を提供することで、学校・家庭・地域が相互に連携して教育に取り組む体制づくりを目指す。	1,454
生きる力応援プラン「夢さがしの旅」推進事業	小、中 中等 保護者	不登校等で悩む子どもや保護者を対象に、社会教育施設等を活用した体験活動や交流活動などを通じて、子どもたちの自立を支援するとともに学校復帰への足がかりとする。	254
おかやま子ども応援事業	幼、こ 小、中 中等 高、特	地域住民の参画による学校教育支援、放課後等支援、家庭教育支援の活動を効果的に組み合わせた取組を推進し、地域ぐるみで子どもを健やかに育むとともに、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。	69,330
社会教育団体による地域パワーアップ事業	小、中 中等、高 特、一般	教育課題や地域課題の解決に向け、社会教育関係団体が専門性やネットワークを生かして実施する取組を支援する。	4,657

### (3) キャリア教育、職業教育の推進

子ども一人ひとりが学業の必要性や意義を実感し、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現できるよう、望ましい勤労観や職業観の育成に向け、学校・家庭・企業等が連携したキャリア教育を推進します。

また、職場体験活動やインターンシップ及び専門高校における職業教育の充実に向け、企業等に対して教育活動への積極的な協力や参画を促します。

### 《キャリア教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
公立中学校における職場体験への支援		体験を通じたキャリア教育の取組モデルの普及		
	公立小学校における職業体験・公立中学校における起業体験の推進			
好事例の収集		全学科展開		

<b>H29の進捗</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生対象の職業体験イベントや、中学生が民間と連携し、起業体験等を行う取組への支援を通じて、キャリア教育の取組モデルを収集し、県下への普及を図っている。</li> <li>○学習成果の体験や販売等を実施することで、キャリア教育で育成すべきコミュニケーション能力や課題対応能力等を育成するイベントを開催している。</li> <li>○各学校や学科の特色を生かしたキャリア教育の好事例を収集し、Webサイトで情報提供し、高等学校におけるキャリア教育の推進を図っている。</li> <li>○就職アドバイザーを活用し、生徒の実態に応じたきめ細かなキャリア教育の支援を行っている。</li> </ul>

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
起業体験推進プロジェクト	中	中学生を対象に、民間企業等と連携した起業体験を実施し、新しい価値を生み出す主体性や創造性、チャレンジ精神等を育成する。	2,000

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
おかやま☆子ども参観日	幼、こ小、中 中等保護者	県庁や民間企業等において、職員の子どもが職場見学や仕事体験を行い、最も身近な大人である保護者の働く姿を見たり、仕事等を体験したりすることで、子どもたちの勤労観・職業観を育成する。	— (運営費で対応)
高等学校でのインターンシップ等の推進	高	各学校で学科の特色や実態に応じたインターンシップや企業訪問等体験活動の実施を一層推進する。	— (運営費で対応)
高校生のためのジョブフェア	高、特	岡山労働局等と連携して、採用意欲のある企業の参加を募り、合同の説明会を開催し、就職を希望する生徒に、働くことの意義などを考えさせ、望ましい職業意識を身に付けさせる。	623
高校生就職アドバイザー配置事業	高	拠点校に外部支援員(就職アドバイザー)を配置し、地域内の求人開拓・就職指導・定着指導等のキャリア教育の支援を行う。	6,934
高校生と県内企業の交流推進事業	中等、高	県立普通科等高校生を対象に、県内企業と交流する場として、企業説明会や企業体験バスツアーを設定し、将来の地元定着やUターン就職を推進する。	7,133
<b>新規</b>			

## 《職業教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
	キャリア意識・離職状況の調査、分析	進路指導主事研修講座等での離職防止に向けた指導の徹底		

### H29の進捗

- 大学との連携によるキャリア意識・離職状況の調査、分析により明らかになった課題等の周知を図っている。
- 「働く若者サポートガイド」を活用し、正しい勤労観、職業観の育成に取り組んでいる。
- 技術顕彰を実施し、専門的な知識・技術の習得を図っている。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
高校エキスパート活用事業	高、特	高等学校において、工業、農業、語学、情報機器、理数等について専門的な知識や技能を有する民間企業や地域の人材、外国人講師等の人材を配置し、最先端の技術や知識を学習する機会を提供し、専門性の向上を図る。 また、特別支援学校において、高等部の生徒を、言語聴覚士や臨床心理士の立場等から支援できる人材を配置し、様々なニーズへの対応を図る。	26,696
高校生キャリア教育フェア	高、特	高等学校等で学ぶ生徒が、小中学生を含めた県民に対して日頃の学習成果を総合的に発表する場を設けることにより、高校生の学ぶ目的意識の明確化や社会的・職業的自立のために必要な能力を育成する。 (県職業能力開発協会主催の「おかやまものづくりフェア」と同時開催)	1,285
「森林(もり)の担い手」育成事業	中、高	将来の担い手を養成するため、林業関係学科等のある高等学校の生徒等を対象に、林業就業に向けた基礎及び高度な技術実習等の場を提供するとともに、中学校時に森林・林業について授業で学習できるよう技術・家庭科の技術分野の教員が学習できる場を提供する。	1,500
<b>新規</b>			
産業教育等設備整備事業	高	産業教育振興法に基づき、県立高等学校の産業教育設備の整備充実を図る。	110,185



## 4 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成

### (1) 道徳教育の充実による規範意識の確立

子どもたちの規範意識や人間関係構築力、自尊感情を高め、豊かな情操を育むため、学校教育全体を通じて、さまざまな体験活動等を交えながら道徳教育の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進します。さらに、道徳の教科化に対応し、指導方法や指導体制等に関する実践的な研究を通して道徳の授業改善を進め、その成果の普及に努めます。

#### 《道徳教育の充実》

H28	H29	H30	H31	H32
道徳教育副読本の作成(再掲)	道徳教育副読本の活用促進(再掲) 授業での実践から得られた好事例の共有			
	道徳の教科化に対応した研修の実施 ⇒ 優れた人材の確保等参照 教科書研究や、評価方法等についての研修の実施			
		特別の教科道徳の実施 小学校における教科化		中学校における教科化
	学校教育での論語の活用促進 総合教育センターの研修に位置づけた教員と教員志望者による論語学習研修会の実施			

#### H29の進捗

○県小学校教育研究会主催の研修会において、岡山県道徳教育郷土資料集（小学校）を活用した実践発表を実施し、好事例の共有を図った。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
道徳教育総合支援事業(再掲) <b>拡充</b>	幼、こ小、中 中等、高	道徳の教科化に向け、指導方法の工夫、教科書の内容や活用の在り方、評価方法等に関する研修会を開催するとともに、拠点校（10校）事業を新たに実施し、中学校の道徳の授業改善を推進するなど、道徳教育の充実を図る。	3,910

#### 《体験活動の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
公立中学校における職場体験への支援(再掲)		体験を通じたキャリア教育の取組モデルの普及(再掲)		
		小学生長期宿泊体験活動実施校の支援		

#### H29の進捗

○小学校長期宿泊体験活動への参加校の拡大に向け、市町村の校長会等へ実践事例を説明するなど、事業の普及拡大を働きかけた。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
小学校長期宿泊体験活動推進プロジェクト	小	小学校において3泊4日の宿泊体験活動を実施し、児童の自立心や主体性、規範意識や人間関係構築力、問題解決能力等の育成を図るため、モデル校での活動を支援し、成果を普及する。	9,547

## (2)いじめや暴力行為等への対策の推進

いじめや暴力行為等の問題行動への対策として、関係機関と連携した取組を進めるとともに、子どもたちの自主的・自発的な活動を充実させ、新たな問題行動を生まない魅力ある学校づくりを推進します。また、問題行動を初期段階で確実に捉え、解決に向けた取組を徹底できるよう、核となって活動できる教員を育成し、学校における組織的対応を充実させます。さらに、子どもの家庭環境等を踏まえ、就学前からの早期対応を行います。

その他、問題行動や非行に対しては関係機関が連携して適切に対処するほか、学校が警察と協働で実施する非行防止教室を中心とした「心(社会道徳や規範)と命(生命の大切さ)の教育活動」などを通じて、規範意識の向上に努めます。また、警察本部に設置した学校警察連絡室を核として、警察と学校が連携した少年非行情勢の改善を図ります。

### 〈学校の組織的取組の充実〉

H28	H29	H30	H31	H32
学校の組織的対応や教員の生徒指導力の向上				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     専門家の活用や支援チーム等の派遣による集中的な取組                 </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     組織的生徒指導体制構築に向けた取組の強化(再掲)                 </div>				
児童生徒の主体的な活動の推進				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     いじめについて考える週間の取組                 </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     スマホ・ネット問題総合対策 ⇒ インターネット等青少年を取り巻く問題への対応参照                 </div>				

#### H29の進捗

- 警察等の関係機関やSC・SSW等の専門家のノウハウについて、教職員間での共有を促進するなど校内の組織的な支援体制の強化を推進している。
- 「岡山県いじめ問題対策基本方針」を改定し、いじめの未然防止、積極的な認知や早期の対応、解消の取組等の強化を図り、いじめ問題への対策を推進している。
- 「いじめについて考える週間」等における生徒会等を中心とした取組や、いじめ防止ポスター・標語の募集等を通じて、未然防止に向けた児童生徒の主体的な取組を推進している。
- 中高生によるスマホサミットを継続開催し、スマホ等の正しい利用に向けた各校の主体的な取組の促進・普及を全県で推進している。
- 問題行動が見られる学校への集中的・継続的な支援を実施し、状況の改善に努めている。(再掲)

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
生徒指導専任リーダーの配置(再掲) <b>新規</b>	小	複数小学校を兼務し、管理職とともに生徒指導担当者への指導・助言を行い、組織的生徒指導推進体制の構築に取り組む生徒指導専任リーダーを、県北地域及び県南地域に各1名配置し、学校の生徒指導力の強化を図る。	- (運営費で対応)
いじめ防止対策等総合推進事業	小、中等、高、特	いじめ問題等対応専門チームによる支援やネットパトロールの実施、児童生徒による未然防止の取組の普及啓発、問題行動等の課題の大きい学校に対する警察と連携協力した指導助言等を行い、県の基本方針に基づく、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進する。	14,925
生徒指導上の課題解決に向けた効果的な対応策普及促進事業	小、中等、高、保護者	スマホサミット開催等の児童生徒の主体的な取組の促進や、生徒指導推進大会での取組の成果発表等による好事例の普及を図ることで、スマホ等の適正利用を推進する。	1,799
心と命のサポート事業	小、中等、高、特	児童生徒が自他を大切にすることを身に付けることができるよう、いじめや自殺の問題に直面した当事者や関係者等によるいじめの重大さや命の尊重等に関する出前授業を実施し、いじめ、不登校などの問題行動や自殺等の未然防止を図る。	2,059

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
アプリを利用した匿名によるいじめ等の相談・報告システム活用事業 <b>新規</b>	中 中等 高	アプリを利用した匿名によるいじめ等の相談・報告システムを導入し、当事者やいじめを見かけた児童生徒が安心して相談できる体制を構築する。	931
自殺予防教育推進事業 <b>新規</b>	小、中 中等 高、特	教職員を対象とした自殺予防教育に係る講座の開催や校内研修用資料の作成等により教職員の自殺予防に関する理解の促進及び実践力の向上を推進し、児童生徒自身の自殺等の危機を乗り越える力の養成を図り、いじめ・不登校等の未然防止や自殺等の予防につなげる。	384
学級崩壊等早期対応事業(再掲)	小、中 中等	問題行動が見え始めた学校に対して、警察OBと教員OBのペアによる集中指導員等を早期に一定期間継続的に派遣するなど、指導体制の強化を図るとともに、授業エスケープ等が見られる児童生徒の教室復帰に向けた学習支援等を行う別室指導支援員を一定期間配置する。	46,366

## 【関係機関との連携】

H28	H29	H30	H31	H32
警察(学校警察連絡室等)、児童相談所、少年保護関係機関等との連携				
専門家(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等)の活用による困難事例を中心とした課題の解消(再掲)				
未然防止・早期対応の一層の強化(再掲)				

### H29の進捗

- 警察等の関係機関と連携し、学校内外での問題行動への指導・対応とともに、非行防止教室、あいさつ運動、学校周辺パトロールや地域の行事等での補導活動を推進している。
- 定期的な研修やSVからの指導を通じてSCやSSWの専門性向上を図り、課題の解決に努めるとともに、市町村教委や生徒指導担当教員に、問題行動等の未然防止、早期対応、チーム対応、専門家との連携の徹底を働きかけている。(再掲)

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
いじめ防止対策等総合推進事業(再掲)	小、中 中等 高、特	いじめ問題等対応専門チームによる支援やネットパトロールの実施、児童生徒による未然防止の取組の普及啓発、問題行動等の課題の大きい学校に対する警察と連携協力した指導助言等を行い、県の基本方針に基づく、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進する。	14,925
スクールカウンセラー(SC)配置事業(再掲) <b>拡充</b>	小、中 中等、高	公立全中学校(岡山市を除く)と小学校88校に臨床心理士等の専門家をSCとして配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、SVによる指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。 【拡充内容】小学校配置 78校→88校 SV 6人→7人	141,776
スクールソーシャルワーカー(SSW)を活用した行動連携推進事業(再掲)	小、中 中等、高	県内の各市町村を12ブロックに分けたそれぞれの地域をSSWが担当し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。	162,111
思春期サポート事業(再掲) <b>拡充</b>	中等、高 保護者	全県立高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に対し、臨床心理士等の専門家による、生徒・保護者に対するカウンセリング、教職員に対する助言・研修等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。 【拡充内容】年12回→年15回	11,610

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン第2次岡山県教育  
振興基本計画諸課題に対する  
県の支援策施策の  
概要魅力ある学校  
づくりの推進学びのチャレンジ  
精神の育成家庭・地域の  
教育力の向上規範意識と思いやりの  
心、健やかな体の育成生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編





## H29の進捗

- 中高生によるスマホサミットを継続開催し、スマホ等の正しい利用に向けた各校の主体的な取組の促進・普及を全県で推進している。(再掲)
- ネット依存の研究については、依存状態を判断するひとつの目安となるチェックシートとその活用マニュアルを作成した。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
生徒指導上の課題解決に向けた効果的な対応策普及促進事業(再掲)	小、中 中等、高 保護者	スマホサミット開催等の児童生徒の主体的な取組の促進や、生徒指導推進大会での取組の成果発表等による好事例の普及を図ることで、スマホ等の適正利用を推進する。	1,799
スマホ・ネット問題に対するネット依存研究事業	小、中 中等、高 特	学識経験者の助言を得ながらネット依存の現状と課題について分析・研究した成果を県内各学校へ周知し、ネット依存の未然防止と早期対応を図る。	136

【ネット依存防止マニュアル(チェックシート)】(※一部抜粋 全編は県総合教育センターHPに掲載)

### 【ネット依存防止マニュアル】

スマホ・ネットとの上手な  
つきあい方を考えよう!!



岡山県教育委員会  
平成30年3月

※掲載されている資料はコピーして自由に活用できます。(児童生徒・保護者への配付もできます。)  
※岡山県総合教育センターHPに掲載しています。(ダウンロードして活用できます。)  
ネット依存防止マニュアルがスマホ・ネットとの上手なつきあい方を考えよう!!  
<http://www.okayama-c.ed.jp/siryu/?p=25>



### Ⅶ 「様式1」スマホ・ネットとのつきあい方チェックシート

○これは、あなたのインターネットへの依存度(はなれない状態)を確かめるものです。  
○まず、あなたがしたい何時間寝て、何時頃に起きるかを記入した後、次の①～⑧の項目で、あなたの現状に当てはまるものに「○」をつけてください。  
○利用する機器は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などオンラインでつながっているものすべてを含みます。

( )年( )月( )日 名前( )  
【あなたは普段、何時頃に寝て、何時頃に起きますか】  
・寝る時間は( )時頃 ・起きる時間は( )時頃

項目	「○」欄
① インターネットに夢中になっていると感じていますか?	
② 満足を得るために、インターネットを使う時間を長くしたいと感じていますか?	
③ インターネットの使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとして失敗したことがたびたびありましたか?	
④ インターネットの使用時間を短くしたりやめようとする、落ち着かなかったり、不機嫌になったり、落ち込んだり、イライラしたりしますか?	
⑤ 使い始めに思っていたよりも、長い時間、インターネットをつないだ状態ですか?	
⑥ インターネットのために、大切な人間関係、学校のことや部活動のことを台無しにしたり、危うくなるようなことがありましたか?	
⑦ インターネットへの熱中のしすぎを隠すために、家族、先生やそのほかの人たちに嘘をついたことがありますか?	
⑧ 自分にふりかかった問題から逃げるため、または絶望、不安、落ち込みといったいやな気持ちから逃げるために、インターネットを使いますか?	

あなたの「○」の数は  個

## (4)郷土愛の醸成

自然、歴史・伝統、民俗・文化、人物など地域の特性に根ざした学習を学校の教育活動全体を通じて行うとともに、文化・スポーツ等の体験活動を通して、子どもたちが生まれ育った地域への理解を深めることにより、郷土愛の醸成を図り、郷土岡山の活力を生み出す人材の育成につなげます。

## 《地域への理解を深める教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
道徳教育副読本の作成(再掲)	道徳教育副読本の活用促進(再掲) 授業での実践から得られた好事例の共有			
学校教育での論語の活用促進(再掲)	総合教育センターの研修に位置づけた教員と教員志望者による論語学習研修会の実施(再掲)			
文化財の公開・活用の充実と文化財保護・継承活動の担い手育成の促進	郷土の文化遺産を紹介するガイドブックやHPの作成・普及	県内の民俗芸能を紹介するガイドブックの作成・普及		活用促進

<b>H29の進捗</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県小学校教育研究会主催の研修会において、岡山県道徳教育郷土資料集（小学校）を活用した実践発表を実施し、好事例の共有を図った。（再掲）</li> <li>○ 次世代への継承が課題である民俗芸能をテーマとしたガイドブックを新たに作成し、継承に向けた機運の醸成を図った。</li> <li>○ 県立博物館等で歴史や文化を体感できる様々な体験学習を実施し、教育普及活動や学校教育との連携の充実を図った。</li> </ul>

（予算額の単位：千円）

H30の取組	校種等	内容	予算額
道徳教育総合支援事業(再掲) <b>拡充</b>	幼、こ 小、中 中等、高	道徳の教科化に向け、指導方法の工夫、教科書の内容や活用の在り方、評価方法等に関する研修会を開催するとともに、拠点校（10校）事業を新たに実施し、中学校の道徳の授業改善を推進するなど、道徳教育の充実を図る。	3,910
守ろう地域の宝！ 民俗芸能	小、中 中等、高 特、一般	県内の国・県指定重要無形民俗文化財等を地域別に紹介するガイドブックを作成し、学校での郷土学習や家庭・地域での活用を促進することで、民俗芸能に対する興味・関心と理解を深める。	682
県立博物館の館内 授業・出前講座	小、中 中等 高、特	博物館で豊富な実物資料に触れ、解説を聞きながら展示を見学する「館内授業」や、学芸員が学校に出向き、実物資料をもとに授業を行う「出前授業」を実施し、岡山の歴史や文化への関心を高めたり、授業内容の理解を深めたりする。	— (運営費で対応)
吉備の国ジュニア 歴史スクール	小	岡山の歴史や文化に関するテーマを設け、実物資料等に触れる体験を通して文化財への興味と理解を深める。（1日目：博物館での授業、2日目：学校での学習のまとめ）	— (運営費で対応)
ジュニア学芸員講 座	中、中等 高	岡山の歴史や文化に関心を持つ子どもたちに、博物館学芸員の仕事を実際に体験してもらい、将来の学芸員や博物館ファンを育成する機会とする。	— (運営費で対応)

### (5)より良い社会づくりに参画する人材の育成

学校におけるボランティア教育や主権者教育を推進するとともに、子どもたちの社会貢献活動への一層の理解と参加を促進し、人の役に立ち、人に感謝される体験を通して、社会の一員としてより良い社会づくりに積極的に参画していこうとする人材の育成を図ります。

### 《ボランティア教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
保幼小中と連携した社会貢献活動の好事例の収集	保幼小中と連携した社会貢献活動の好事例の普及	全県展開		

<b>H29の進捗</b>
○保幼小中と連携した「社会貢献活動」実践事例の普及を行った。

（予算額の単位：千円）

H30の取組	校種等	内容	予算額
高等学校における 社会貢献活動の推 進	中等、高	全ての県立高等学校及び県立中等教育学校後期課程において、教育活動に位置づけた社会貢献活動を計画・実施することで、道徳性・社会性の育成を図る。	— (運営費で対応)

## 《主権者教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
選挙管理委員会等と連携した主権者教育の取組				
好事例集作成・普及				

H29の進捗
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各校では選挙管理委員会等と連携した模擬選挙などの実践的な活動や、新聞記事の活用、生徒会による投票の呼び掛け、選挙の基本的な留意事項を示したチラシの配付等の取組を実施した。</li> <li>○ 県教委としての方針、国の副教材や研究推進委員会の研究成果である実践事例集を活用した取組のポイントを主権者教育担当教員に周知するとともに、実践事例集に小中学校の社会科の実践事例や地域課題を探究する学校の事例等を追補した。</li> </ul>

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
主権者教育の推進	小、中 中等、高	投票行動が一過性の関心に留まらないように、地域の課題等を自らの問題として捉え、主体的にその解決に取り組む学習をより積極的に行い、主権者としての自覚を持たせる取組を継続的・計画的に実施する。	— (運営費で対応)

## (6) 健やかな体の育成

学校での体育の充実を図るとともに、健康教育や食育の推進を通して子どもたちが望ましい生活習慣を身に付けることにより、生涯にわたりたくましく生きるための健康・体力づくりを推進します。また、子どもの体力向上への意欲を高めるとともに、スポーツを通じて、規範意識や豊かなコミュニケーション能力、人間関係を築く力を醸成します。

## 《学校体育の充実》

H28	H29	H30	H31	H32
チャレンジランキングの参加促進・総運動時間数のチェックシート活用の促進				
体力アッププログラムの活用普及、ラジオ体操の実施促進				

H29の進捗
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チャレンジランキング参加校園数は、年々増加傾向で、また、総運動時間数のチェックシートの活用も、各校で進んできている。</li> <li>○ 体力アッププログラムは、ホームページへの掲載や担当者研修会での呼びかけ等により普及が進んでいる。ラジオ体操については、指導者講習会を実施しており、運動会や授業等で取組が進んでいる。</li> </ul>

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
子どもの体力向上支援事業（チャレンジランキング）	保、幼 こ 小、中 中等 高、特	クラス等のグループ単位で様々な運動に楽しみながら挑戦し、記録をホームページ上で競うことで、園児・児童生徒の運動の習慣化を図る。	267

## 《健康教育や食育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
学校保健委員会活動の充実 すべての学校での設置に向けた取組				
食に関する指導の充実 全県展開				

### H29の進捗

- 学校保健委員会のすべての学校での設置に向け、未設置校がある市町村教委への働きかけを強化している。
- 食に関する指導の充実については、県学校栄養士会と連携して指導内容や普及方法を研究するなど、これまでのモデル事業により確立した「食育スタンダード」を全県下に普及するための取組を進めている。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
スクールヘルスリーダー派遣事業	小、中等、高特	退職養護教諭（スクールヘルスリーダー）を養護教諭未配置校や1人配置校（採用後4年以下）に派遣し、養護教諭の育成及び支援を行い、学校保健活動の更なる充実を図る。	2,712
学校保健総合支援事業	小、中等、高特	児童生徒の現代的健康課題（アレルギー疾患、メンタルヘルス等）に対応するため、地域の実情を踏まえた医療機関等との連携など課題解決に向けた様々な取組や、各学校の教員を対象とした研修会を開催する。	1,219
食育スタンダード普及推進事業	小、中等、特	県学校栄養士会と連携して食育の指導内容等を研究するとともに、中核となる栄養教諭による公開授業や実践発表等を通じて各校での取組を促し、食育スタンダードの全県下への普及を推進する。	732
がんの教育推進事業 <b>新規</b>	小、中等、高特	がんに対する正しい理解、がん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深化し、自らの健康管理とがんの予防・早期発見への行動変容につなげるため、研修会を開催し、学校におけるがん教育を推進する。	71

## 《スポーツを通じた規範意識の向上等》

H28	H29	H30	H31	H32
武道等、規律正しい体育の授業の実施				
責任感、連帯感を育成する運動部活動の充実				

### H29の進捗

- 中学校に武道指導者を派遣し、指導者の資質向上と武道の授業の充実を図っている。
- 中学校、高等学校の運動部活動に外部指導者を派遣するなど、指導の充実と活性化を図っており、全国中学校体育大会や全国高校総体等での活躍につなげることができた。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
中学校運動部活動支援	中、中等	選手強化や全国中学校体育大会等派遣費補助など、中学校の運動部活動の支援を行う。特に、平成30年度に中国ブロックで開催予定の全国中学校体育大会に向け、競技力強化についての取組を一層推進する。	11,649
高等学校運動部活動支援	中等、高	選手強化や全国高等学校総合体育大会等派遣費補助など、高等学校の運動部活動の支援を行う。	12,906



(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
地域スポーツ指導者派遣事業	県立学校	スポーツ団体の指導者資格又はそれと同等の能力を有する地域のスポーツ指導者を県立学校に派遣し、運動部活動の活性化を図る。	2,897
平成30年度全国中学校体育大会開催準備事業 <b>拡充</b>	中、中等	平成30年度に中国ブロックで開催される全国中学校体育大会について、広報や審判員の養成等、大会の開催に向けた諸準備を行う。	32,306

## (7) 人権教育の推進

学校の教育活動全体を通じて、子どもたちの人権に関する知的理解を深め、人権感覚を育むことにより、自他の人権を守ろうとする意識や態度を養い、実践行動につなげる取組を進めます。また、家庭・地域においても、すべての人々の人権が尊重される「共生社会おかやま」の実現を目指して、人権教育の充実を図ります。

### 《学校教育における人権教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
教職員研修の実施 ⇒ 優れた人材の確保等参照				
指導資料等の整備とモデル推進校等での研究・実践				

#### H29の進捗

- モデル推進校4校において、研究主題に基づいて計画的かつ組織的な研究を行い、人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成を図るとともに、研究発表等を通じて成果の共有を図った。
- 教職員の人権教育への理解を深めるため、県立学校への訪問研修を実施した。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
岡山県人権教育推進委員会	-	学識経験者等により人権教育の在り方について審議し、意見を述べる。	292
人権教育推進マトリックス会議	-	教育庁内の関係課室が連携して人権教育を推進するために、情報交換や施策等の調整を行う。	768
教職員研修	幼、保 こ 小、中 中等、高 特	管理職及び人権教育担当者等を対象とした研修会を実施し、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、教職員の人権意識の高揚を図る。	- (運営費で対応)
県立学校人権教育サポート事業	中、中等 高、特	自他の生命及び個人の尊厳等を尊重する教育を充実させ、児童生徒の人権尊重への理解や人権感覚の育成を図るとともに、心理検査を活用し一人一人が尊重され、意欲的に学習や活動に取り組むことができる学校づくりを推進する。また、県立学校における教職員の資質能力と指導力の向上を図る。	12,415
人権教育実践力向上事業	中等 高、特	高等学校等における人権教育の推進の在り方について研究し、その成果を県下に広める。 (高等学校等人権教育研究モデル推進校の指定等)	1,547
人権教育活動調査	小、中 中等、高 特、教委	人権教育を総合的に推進するための基礎資料とするため、市町村及び学校における人権教育推進の状況を把握する。(人権教育推進状況報告書)	120
指導資料整備事業	幼、保 こ 小、中 中等、高 特、教委	人権教育を進める際に参考となる指導資料の活用等を促進するとともに、様々な人権問題に関する啓発視聴覚教材を整備し、学校・地域における人権教育の推進に資する。	1,831

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン第2次岡山県教育  
振興基本計画諸課題に対する  
県の支援策施策の  
概要魅力ある学校  
づくりの推進学びのチャレンジ  
精神の育成家庭・地域の  
教育力の向上規範意識と思いやりの  
心、健やかな体の育成生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
研究調査事業	幼、こ 小、中 中等 高、特	人権教育に関する実践的研究や教材、資料及び学習プログラムの開発等を行う。	1,750
人権教育研究指定校事業	小、中	文部科学省の指定を受け、人権意識を培うための学校教育の在り方についての実践的な研究を行う。	361
関係機関及びNPO等との協働による教育関係者児童虐待対応研修	幼、保 こ 小、中 中等、高 特、教委	児童相談所、市町村の虐待対応担当課、NPO等との協働により、教職員の児童虐待対応力向上のための専門的な研修を実施し、各市町村教育委員会及び学校園における児童虐待への対応力の向上を図る。	532

## 《家庭・地域における人権教育の推進》

H28	H29	H30	H31	H32
PTA研修の実施				
市町村の指導者の養成と各種情報提供				

### H29の進捗

- 子どもの人権感覚の育成に果たす保護者の役割が重要であることから、保護者が様々な人権問題についての理解を深め人権意識の高揚を図ることができるよう、PTA指導者を対象した研修を行い、その資質向上を図った。
- 市町村の指導者の養成については、養成講座の修了者数が減少していることから、引き続き受講者確保に向けて募集方法を工夫するとともに内容の充実を図る。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
PTA指導者人権教育研修会	保護者	PTAの指導者を対象に、人権問題についての理解と認識を深めるため、人権に関する講演や実践発表、ワークショップ等の研修会を実施し、PTA指導者としての資質の向上を図る。	2,716
市町村情報提供・連絡事業	教委	市町村教育委員会教育長及び人権教育担当者等を対象とした連絡会の実施や、人権教育講師バンクに講師情報を登録し、Webページ上で公開するなど、市町村への適切な情報提供を図る。	415
人権教育指導者養成講座	教委 市町村	様々な人権問題の解決に向けて、深い認識と実践力をもった指導者を養成する講座を実施するとともに、その修了者を対象にしたスキルアップ講座を開講することで、人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身に付けるための教育・啓発活動を推進する。	462



## 《生涯学習活動を支援する環境づくり》

H28	H29	H30	H31	H32
多様な主体と連携した生涯学習大学の充実(県生涯学習センター)				
ばるネットで提供する学習情報等の充実(県生涯学習センター)				
市町村立図書館の支援や図書館ネットワークの推進(県立図書館)				

### H29の進捗

- 「ばるネット岡山」を県民にとって分かりやすく使いやすいシステムにリニューアルした。
- 市町村立図書館と連携・協力し、平成28年度に続き県立図書館ホームページでの予約による市町村立学校への協力貸出を試行的に実施した。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
岡山県生涯学習大学事業(再掲)	一般	主催講座として、学んだ成果を地域活動に生かせる実践的な講座を開設するとともに、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、総合的な学習機会を提供する。	5,383
JAXA(宇宙航空研究開発機構)との連携事業	子ども 教職員 一般	JAXAと連携して、「宇宙」を素材とした教職員対象の研修、子ども・親子対象の学習プログラム、指定校における特別授業等を展開し、子どもたちの科学や自然に対する興味・関心を高めるとともに、豊かな科学的素養を育む。	1,344
「ばるネット岡山」による情報提供	一般	県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の充実を図り、県民の生涯学習を支援する。	— (運営費で対応)
人と科学の未来館サイピアの運営	一般	学校教育との連携により、創造性豊かな人材を育成するとともに、幅広い世代の体験・交流を生み出す場を提供することで、県民の科学に対する興味・関心、知的探究心等を高め、豊かな科学的素養を育む。	46,276
「県立図書館フェスタ」事業	一般	県民が読書に親しむきっかけづくりとして、講演会や公開講座、企画展示等を行い、読書活動の推進を図る。	587
図書資料の整備	一般 子ども	県民の資料要求に応えるとともに、市町村立図書館のサービス活動を支援するため、児童図書を全点購入するなど新刊図書を整備する。	99,568
図書館職員等研修講座	図書館職員等	図書館関係職員に必要な専門的な知識・技術について研修を行い、力量を高め、全県的な図書館サービスの向上を図る。	326
岡山県公立図書館ネットワーク構築事業	一般 子ども	市町村立図書館等と連携・協力しながら、資料の検索や搬送(週2回)を充実させるとともに、高等学校図書館等への搬送事業(週1回)を実施するなど、全県域を対象とした図書館サービスの向上を図る。	12,861
社会教育に関する調査研究	一般	社会教育に関する現代的な課題等について調査研究を行い、その成果や実践例・学習プログラム等を市町村や関係団体等に普及するとともに、次年度以降の研修や施策にも反映させる。	441
青年の家運営	小、中 中等 高、特 一般	心身ともに健全な青少年の育成を図るため、県渋川青年の家及び県青少年教育センター閑谷学校において指定管理者制度による、民間のノウハウを活用したプログラムを提供することにより、自然体験活動の充実を図る。	199,050



## (2)文化創造活動の振興と文化財の保存・活用

県立美術館や天神山文化プラザ等の文化施設の利用促進や充実に努めるとともに、文化団体等の活動を支援することにより、県民の文化創造活動の振興を図ります。

新たな創造活動の活性化と地域のにぎわい創出を促進するよう、地域住民やまちづくりに取り組む団体、芸術家等との協働による文化の力を活用した地域づくりを推進するとともに、将来の地域文化の担い手を育成します。

また、子どもたちをはじめ、より多くの県民が郷土の文化遺産に触れ、学び、親しむことができる機会の充実に努め、その着実な保存・継承と積極的な活用を図ります。

### 《文化に親しむ環境づくり》

H28	H29	H30	H31	H32
文化施設の利用促進と充実				
質の高い美術や舞台芸術等の鑑賞機会の提供				
学校における文化活動の充実				
文化団体への支援				

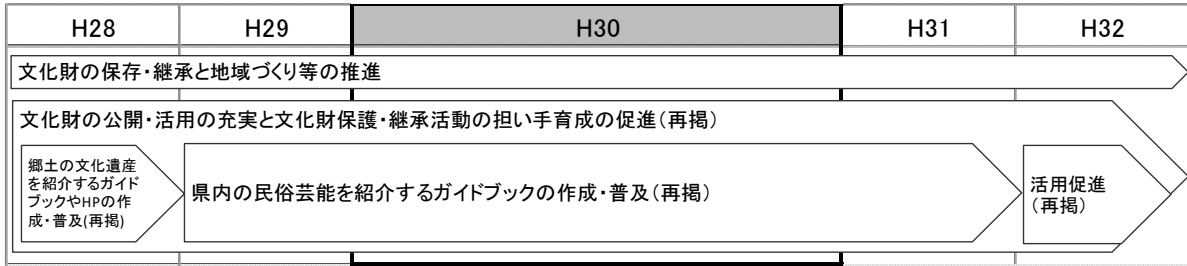
#### H29の進捗

- 県内の学校に対し、スクールコンサートや青少年芸場巡回公演など、学校文化活動への支援事業を実施した。
- 学校文化活動の成果発表の場である、第41回岡山県高等学校総合文化祭や第22回岡山県中学校文化連盟生徒作品・表現活動発表会が開催され、経費の補助を行った。

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
高等学校総合文化祭等	中、中等高	他県との発表・交流の場である全国高等学校総合文化祭への派遣等を行い、芸術文化活動の発展を図るとともに、情操豊かな子どもたちの育成を図る。	5,114
国際文化交流事業	中等、高	芸術・文化活動に取り組んでいる外国の高校生を招聘して、文化活動の交流を行うことで、文化振興に寄与するとともに、相手国理解や親善を図る。	1,675
演劇・音楽公演	小、中 中等高、特	県内の学校等において、演劇公演や室内楽・オーケストラ公演を実施し、児童生徒に優れた芸術・文化に直接触れる機会を提供する。	4,693
文化芸術による子供の育成事業	小、中 中等高、特	子どもたちが、芸術文化団体等による実演指導、ワークショップや団体等との共演に参加し、優れた舞台芸術に身近に触れる機会を提供する。	— (国費)

## 《文化財の保存・活用》



### H29の進捗

- 文化財の保存修理への支援や、中世城館跡の総合調査、9年ぶりとなる中国・四国ブロック民俗芸能大会の県内開催及び新たにおかやまの文化財一斉公開事業の実施により、貴重な文化財の次世代への継承と文化財に親しむ機会の充実を図った。
- 次世代への継承が課題である民俗芸能をテーマとしたガイドブックを新たに作成し、継承に向け機運の醸成を図った。(再掲)

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
文化財保護保存事業	一般	国・県指定文化財の保存修理等に要する経費の一部を補助する。 吉備津神社北随神門保存修理、旧大國家住宅保存修理 他	60,551
再発見！ふるさとの山城－岡山県中世城館跡総合調査－	一般	総合的に現地調査・文献調査を実施し、県内の中世城館跡の保護・活用に資する。 平成30年度調査予定箇所 備中地域 約239箇所	4,430
おかやまの文化財一斉公開事業	一般	県内各地で、通常は公開されていない文化財の公開や、文化財を活用した関連行事が行われるよう働きかけ、その周知を図ることにより、文化財の活用を一層促進し、広く県民の文化財への理解と関心を深める。	1,211
守ろう地域の宝！民俗芸能(再掲)	小、中等、高特、一般	県内の国・県指定重要無形民俗文化財等を地域別に紹介するガイドブックを作成し、学校での郷土学習や家庭・地域での活用を促進することで、民俗芸能に対する興味・関心と理解を深める。	682
埋蔵文化財公開活用事業	一般 子ども	埋蔵文化財の普及・啓発を行う。 ・子ども体験教室 古代のモノ作り体験 ・津島やよいまつり 火起こし、勾玉づくり 他 ・夏休み企画☆ワクワク古代体験 勾玉づくり、鏡づくり 他	2,000
おかやま民俗芸能フェスティバル	一般 子ども	県内各地に伝わる民俗芸能の保存伝承や、後継者の育成を図るため、県内の民俗芸能団体による発表大会を開催する。	700

## 《県立博物館の機能充実》

H28	H29	H30	H31	H32
展示・公開等の充実による歴史文化の発信				
教育普及活動、学校教育との連携等の充実				

H29の進捗
<p>○江戸時代の岡山の学びや備前刀、虫明焼の魅力を紹介する展覧会、鳥取県との交流展等の開催を通して、本県の歴史や文化を物語る文化財を公開し、その魅力の発信に努めた。</p> <p>○県立博物館等で歴史や文化を体感できる様々な体験学習を実施し、教育普及活動や学校教育との連携の充実を図った。（再掲）</p>

(予算額の単位：千円)

H30の取組	校種等	内容	予算額
博物館活動、岡山・愛媛文化交流事業	一般	<p>【特別展】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サムライアーマー甲冑－岡山ゆかりの名品と変わり兜－」(H30. 5. 25～7. 8) 岡山ゆかりの甲冑と奇抜なデザインの変り兜の優品を展示し、甲冑の魅力を紹介する。</li> <li>・「岡山ゆかりの肖像」(H30. 10. 19～11. 25) 岡山ゆかりの人物の肖像画を中心に引き上げ、賛や画中に記された情報を読み取り紹介する。</li> </ul> <p>【企画展】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「報恩大師信仰と寺院縁起 四十八ヶ寺を中心に」(H30. 9. 13～10. 14) 報恩ゆかりの寺院に伝えられる文書を通して寺院縁起の成立と変遷を紹介する。</li> </ul> <p>【交流展】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伊予の戦国時代」(H31. 1. 18～2. 17) 戦国時代に伊予国を治めた河野氏を中心に、武将たちの事蹟を取り上げ、史料を通じて伊予国での戦国時代の状況を紹介する。</li> </ul>	16,045
県立博物館の館内授業・出前講座(再掲)	小、中 中等 高、特	博物館で豊富な実物資料に触れ、解説を聞きながら展示を見学する「館内授業」や、学芸員が学校に出向き、実物資料をもとに授業を行う「出前授業」を実施し、岡山の歴史や文化への関心を高めたり、授業内容の理解を深めたりする。	— (運営費で対応)
吉備の国ジュニア歴史スクール(再掲)	小	岡山の歴史や文化に関するテーマを設け、実物資料等に触れる体験を通して文化財への興味と理解を深める。(1日目：博物館での授業、2日目：学校での学習のまとめ)	— (運営費で対応)
ジュニア学芸員講座(再掲)	中、中等 高	岡山の歴史や文化に関心を持つ子どもたちに、博物館学芸員の仕事を実際に体験してもらい、将来の学芸員や博物館ファンを育成する機会とする。	— (運営費で対応)

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

施策の  
概要

魅力ある学校  
づくりの推進

学びのチャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と思いやりの  
心、健やかな体の育成

生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興

新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編

## 平成30年度における新規・拡充事業及び廃止事業一覧

区分	事業名	関連頁	区分	事業名	関連頁
新規	生徒指導専任リーダーの配置	P.12他	拡充	落ち着いた学級づくり支援事業	P.10
新規	医療と連携した不登校・長期欠席対策研究事業	P.13	拡充	スクールカウンセラー(SC)配置事業	P.12他
新規	不登校・長期欠席の調査・分析	P.14	拡充	思春期サポート事業	P.12他
新規	外部機関と連携した指導力向上事業	P.16	拡充	教師業務アシスタント配置事業	P.16
新規	協同的探究学習モデル事業	P.16	拡充	部活動指導員配置事業	P.16
新規	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画策定事業	P.21	拡充	おかやま創生 高校パワーアップ事業	P.22
新規	遠隔教育システム研究	P.22	拡充	スーパーグローバルハイスクール事業	P.32
新規	学校における医療的ケア実施体制構築事業	P.23	拡充	高校生留学支援事業	P.33
新規	高等学校における多様な学びの場充実事業	P.25	拡充	道徳教育総合支援事業	P.34他
新規	学習習慣形成事業－PTAとの連携強化－	P.29他	拡充	平成30年度全国中学校体育大会開催準備事業	P.47
新規	国際バカロレアの趣旨を踏まえた教育の推進	P.33	拡充	中高生が活躍！おかやま創生を支える人づくり推進事業	P.49
新規	小学校英語授業充実拠点校事業	P.33			
新規	訪問型家庭教育支援推進事業	P.35			
新規	高校生と県内企業の交流推進事業	P.38			
新規	「森林(もり)の担い手」育成事業	P.38			
新規	アプリを利用した匿名によるいじめ等の相談・報告システム活用事業	P.41			
新規	自殺予防教育推進事業	P.41			
新規	がんの教育推進事業	P.46			
新規	若者と「つながる」事業	P.49			
区分	事業名	備考		関連頁	
廃止	中学校夜間学級調査研究事業	事業の終了		P.20	
廃止	学校活性化モデル事業	今後、県下へ成果を普及		P.20	
廃止	個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育モデル事業	国のモデル事業の終了		P.24-25	
廃止	防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業	国のモデル事業の終了		P.28	
廃止	学びのチャレンジコンテスト	児童の学習意欲を高める取組が各学校で浸透するなど、成果が得られたため廃止		P.31	
廃止	グローバルセミナーinOKAYAMA	同様の取組を学校独自で行うなど、成果が得られたため廃止		P.32-33	
廃止	親のグッドスタート事業	市町村での取組が拡充してきたため廃止		P.35	
廃止	子ども安全安心ネットサポーター養成事業	県内各地で活動できるための目標人数100名に達したため廃止		P.35	
廃止	親育ち応援隊！家庭教育支援チーム推進事業	今後、県下へ成果を普及		P.35	
廃止	チャレンジ・ワーク14	事業実施について市町村に浸透するなど成果が得られたため廃止		P.37-38	
廃止	薬物乱用防止教室推進事業	がん教育に関する研修会と隔年で実施		P.46	
廃止	武道等指導充実・資質向上支援事業	総合教育センターの希望者研修に集約		P.46-47	
廃止	民間活力による運動部活動支援体制のための実践研究事業	国のモデル事業の終了(県単独予算で事業継続)		P.46-47	

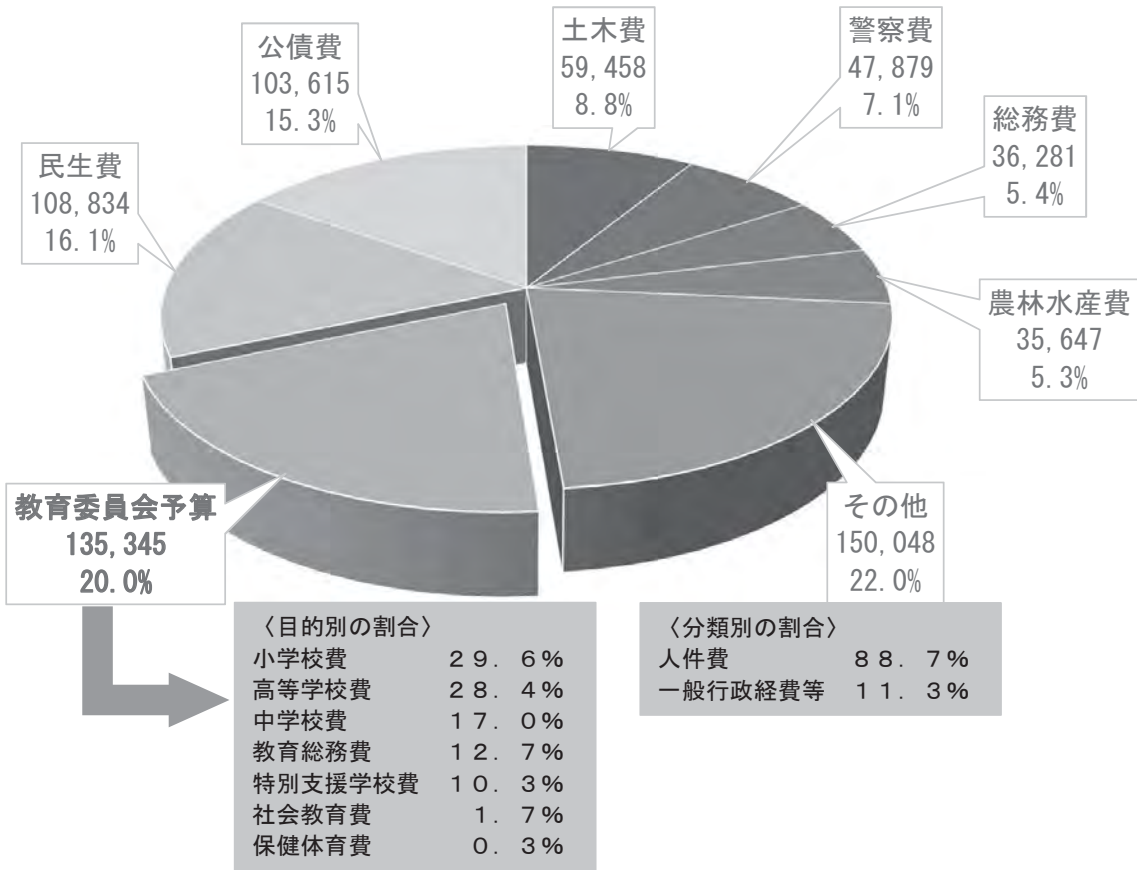


## 資料編

### 県予算と教育委員会予算

[単位:百万円]

	平成30年度 当初予算 A	平成29年度 当初予算 B	増減 A-B	対前年度比 A/B
県予算(一般会計)	677,107	691,693	▲ 14,586	97.9%
教育委員会予算	135,345	135,893	▲ 548	99.6%



### 教職員定数

[単位:人]

	平成30年度				平成29年度				増減
	教員等	事務職員	栄養職員等	計	教員等	事務職員	栄養職員等	計	
事務局等		329		329		328		328	1
小学校	4,745	307	84	5,136	4,726	311	83	5,120	16
中学校	2,600	134	28	2,762	2,604	135	28	2,767	▲ 5
定時制高校	223	8	1	232	223	8	1	232	0
全日制高校	2,909	316		3,225	2,917	316		3,233	▲ 8
特別支援学校	1,352	84	13	1,449	1,368	84	13	1,465	▲ 16
計	11,829	1,178	126	13,133	11,838	1,182	125	13,145	▲ 12

# 知事部局等の関連事業

## 総務部

### 私立高校等に通う生徒の保護者負担の軽減 **拡**

[2億4,540万円]

低所得世帯に対する教育費の負担を軽減するため、第1子への奨学のための給付金の支給額を年額8万4,000円から8万9,000円に上げます。

〈総務学事課〉

### 私立高校生留学支援事業 **拡**

[372万円]

日本や岡山の将来を担うグローバルに活躍できる人材を育成するため、私立高校生の留学費用を助成します。

- 長期留学支援金の増額 30万円→50万円
- 留学支援金の対象者の拡充
  - ・短期留学者支援 8人→12人
  - ・長期留学者支援 4人→6人

〈総務学事課〉

## 県民生活部

### 岡山発！留学生倍増計画

[1,355万円]

学生の留学への関心を喚起するため、セミナー等を実施するとともに、グローバル人材を育成し、地域への定着を図るため、学生の海外留学支援事業を充実します。

#### ■留学促進フェア等の開催

- おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業 **拡**  
企業等の協賛により県内大学生等の海外留学を支援するとともに、留学中の実践活動を充実し、地元定着を促す研修等を実施します。

〈国際課〉

### 青少年健全育成・非行対策事業

[2,043万円]

家庭、学校、地域社会と連携して青少年の健全育成を進める県民運動を展開するなど、青少年が健やかに育つ社会づくりに取り組みます。

- ◎青少年健全育成推進事業
  - 青少年育成県民運動推進事業
  - スマホ・ネット適正利用のための環境づくり事業
    - ・フィルタリング設定徹底大作戦事業 **新**
    - ・スマホ・ネットアドバイザー派遣事業
  - 少年非行防止地域力向上事業
  - 初発型非行防止啓発事業 **新**
    - ・初発型非行防止意識向上大作戦事業
    - ・保護者向け初発型非行防止啓発事業
  - 小中学生向けDV防止啓発事業  
(※別途、高校生向けデートDV防止講演会も実施)
- ◎広域補導事業
- ◎青少年相談員制度の充実・強化
- ◎健全育成促進アドバイザー派遣事業
- ◎おかやま子ども・若者育成支援事業
  - 子ども・若者育成支援ネットワーク構築事業
  - ニート・ひきこもり等の自立支援対策事業
    - ◇身近な市町村での組織的対応
      - ・市町村への子ども・若者支援地域協議会設置の働きかけ
    - ◇高校中途退学者の情報収集と早期相談・対応
      - ・高校との連携による中途退学者をケアする仕組みづくり
      - ・「岡山県青少年総合相談センター」への専門職の配置

〈男女共同参画青少年課〉

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

施策の  
概要

魅力ある学校  
づくりの推進

学びのチャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と思いやりの  
心豊かな体の育成

生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興

新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編



## 保健福祉部

### 地域子ども・子育て支援事業

[21億6,824万円]

放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点の運営や子どもが病気で集団保育が困難な時に利用できる病児保育、家庭で子育てをする保護者も利用できる一時預かりなど、地域の実情に応じた事業を実施する市町村を支援します。

〈子ども未来課〉

### 子どもの貧困支援者連携強化事業

[82万円]

子どもの貧困問題に関心を持つ支援者等の集いを開催し、貧困の実態や取組事例などの情報交換、交流・連携などにより、地域で活動する支援者の育成や新たな掘り起こしに努めます。

〈子ども家庭課〉

## 産業労働部

### おかやまで就職しよう！ 人材還流・定着プロジェクト

[7,882万円]

若者の還流・県内定着に向け、首都圏の大学との関係強化を図る大学生Uターン就職ナビゲーター（仮称）の配置や合同就職面接会、奨学金返還支援助成などを実施します。

- 県外大学生のUターン就職促進事業 **新**
  - ・ 大学生Uターン就職ナビゲーター（仮称）の設置
  - ・ 大学生Uターン合同就職面接会の開催  
東京及び大阪において民間事業者と連携して開催
  - ・ 首都圏などでのインターンシップの実施
  - ・ 県外大学生等の保護者向け就職セミナーの開催
  - ・ ネット採用面接促進に向けたセミナー開催
  - ・ 企業見学バスツアーの実施
  - ・ 中小企業Uターン就職促進奨学金返還支援事業の実施
- 県内大学生の県内就職促進事業 **新**
  - ・ 県内大学キャリアセンターと県内企業の交流会を開催
- 首都圏等の若手社会人のUターン就職促進事業
  - ・ 若手社会人Uターン合同就職面接会の開催 **新**  
東京及び大阪において民間事業者と連携して開催
  - ・ 就職準備資金による応援
  - ・ 3年以内既卒者等再チャレンジ応援企業の認定 **新**
- 若手社会人職場定着促進事業
  - ・ 入社後3年までの社員や経営者等を対象に、業種や企業規模を絞ったセミナー等を開催

〈労働雇用政策課〉

### 科学技術振興事業

[197万円]

- 「集まれ！科学好き」開催事業  
科学系サークル活動を行う中高生に研究発表の場を提供する発表展示会、大学・試験研究機関・企業で活躍する研究者・技術者との座談会を開催する。

〈産業企画課〉

### 高校生のものづくり技能取得支援事業

[125万円]

工業高校生の技能検定合格に向けた支援を実施し、産業の担い手を育成します。

- ・ 県高等学校工業教育協会へ練習用材料費の一部を補助
- ・ 技能検定実技試験受検手数料（機械保全職種）の補助
- ・ 高校生の技能検定実技試験受検料減免額相当分を職業能力開発協会へ補助

〈労働雇用政策課〉

## 警察本部

### 少年非行防止研究会の成果を共有・活用するための事業

[277万円]

少年非行情勢改善の更なる加速化を図るため、平成29年度に発足した少年非行防止研究会の研究成果をまとめた冊子を作成するとともに、学校等の関係機関に配布し、研究成果を県下で共有して少年非行防止対策に活用します。

〈少年課〉

### 非行防止教室等開催促進事業

[1,672万円]

少年の規範意識向上に向けた警察官OBによる非行防止教室の開催を促進します。

〈少年課〉

## 主な教育関連等の月間・週間・日 一覧

### 毎月設定されているもの

名称	期間等	設定主体	趣旨・取組等
岡山県下一斉あいさつ運動	毎月10日	県教委	子どもたちの豊かな心や社会性を育むとともに、子どもや保護者、教員、地域の人間関係を深め、地域を挙げて子どもを見守り、育てる気運を高めるため、県内の小・中・高・特別支援学校が、一斉に、朝のあいさつ運動を展開する。
食育の日	毎月19日	国	食育推進運動を継続的に展開し、食育の一層の定着を図る。

### 月間で設定されているもの

食育月間	6月	国	国、地方公共団体、関係団体等が協力して食育推進運動を実施し、食育の一層の浸透を図る。
青少年の非行・被害防止全国強調月間	7月	国	青少年の非行防止等について、国民が理解を深め、さらに関係機関・団体と地域住民等とが相互に協力・連携して、青少年の規範意識の醸成及び有害環境への適切な対応を図るなどの各種取組を集中的に実施する。
青少年健全育成強調月間	7月、11月、3月	県	青少年の健全育成と非行防止について、より一層県民の理解を深めるとともに、家庭や地域において青少年の健全育成に取り組む気運の醸成を図るため、関係機関、団体が一体となった運動を集中的に展開する。
「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上キャンペーン月間	11月	県教委	関係機関・団体等と連携し、広く県民に生活リズムの重要性を啓発・広報する。
子ども・若者育成支援強調月間	11月	国	国民の子ども・若者育成支援に対する理解を深めるとともに、各種活動への積極的な参加を促し、国民運動の一層の充実と定着を図る。
児童虐待防止推進月間	11月	国	児童虐待防止に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を行う。
地球温暖化防止月間	12月	国	国民、事業者、行政が一体となって普及啓発事業を始めとする様々な取組を行うことにより、地球温暖化防止に向けた国民運動の発展を図る。

### 週間で設定されているもの

発達障害啓発週間	4/2～4/8	団体	全世界の人々に、自閉症をはじめとする発達障害について理解をしていただくことにより、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現を目指す。
「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上キャンペーン週間	5・9・1月にそれぞれ2週間	県教委	関係機関・団体等と連携し、広く県民に生活リズムの重要性を啓発・広報する。
禁煙週間	5/31～6/6	国	WHOによる世界禁煙デーに合わせ、禁煙を推進する。
いじめについて考える週間	6月第1月曜日 から1週間 (6/4～10)	県教委	「岡山県子どもいじめ防止宣言」をもとに、各学校の実態に応じていじめの未然防止等に繋がる取組を展開し、児童生徒の意識や態度を育成する。
歯と口の健康週間	6/4～10	国	歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防処置の徹底を図り、併せて早期発見・早期治療を励行する。
防災週間	8/30～9/5	国	政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する。
自殺予防週間	9/10～16	国	自殺や精神疾患に関する正しい知識を普及啓発し、これらに対する偏見をなくしていくとともに、命の大切さや、自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいたときの対応方法等について理解の促進を図る。
結核予防週間	9/24～30	国	国民の結核に対する正しい理解を図るため、地域の団体組織等を通じて、より一層の普及啓発を図る。
読書週間	10/27～11/9	団体	国民すべて、特に青少年に読書を進める。読書グループの結成促進、家庭文庫・地域文庫・職場文庫の充実を図る。
おかやま教育週間	11/1～7	県教委	県民の教育に対する認識を高めるとともに、学校教育及び生涯学習の気運を醸成し、その充実と発展を図る。



名称	期間等	設定主体	趣旨・取組等
文化財保護強調週間	11/1～7	国	広く国民に文化財に関する理解と関心を深め、文化財保護への一層の協力を得ることを目的とする。
教育・文化週間	11/1～7	国	「文化の日」を中心に教育・文化に関する行事を全国的に開催することにより、教育・文化に親しむ。
家族の週間	家族の日の 前後1週間 (11/11～24)	国	家族や地域の大切さ等についての理解の促進を図る。
障害者週間	12/3～9	国	国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とする。
人権週間	12/4～10	国	世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く国民に訴えかけるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図る。
全国学校給食週間	1/24～30	国	学校給食の意義・役割等について児童生徒・保護者・地域住民の理解と関心を高め、学校給食の一層の充実を図る。
子ども予防接種週間	3/1～7	国	保護者をはじめ、地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図る。

日で設定されているもの

世界自閉症啓発デー	4/2	国連	全世界の人々に、自閉症をはじめとする発達障害について理解をしていただくことにより、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現を目指す。
子ども読書の日	4/23	国	国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める。
防災の日	9/1	国	政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する。
体育の日	10月第2月曜日 (10/8)	国	スポーツに親しみ、健康な心身を培う。
おかもやま教育の日	11/1	県教委	県民の教育に対する認識を高めるとともに、学校教育及び生涯学習の気運を醸成し、その充実と発展を図る。
津波防災の日	11/5	国	津波による被害から国民の生命、身体及び財産を保護することを目的とする。
いい歯の日	11/8	県	県民一人ひとりが歯と口の健康について考える。
家族の日	11月第3日曜日 (11/18)	国	家族や地域の大切さ等についての理解の促進を図る。
世界人権デー	12/10	国連	全ての加盟国及び関係機関が世界人権宣言が採択されたこの日を祝賀する日として、人権活動を推進するための諸行事を行う。
文化財防火デー	1/26	国	文化財を火災・震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意識高揚を図る。
世界ダウン症の日	3/21	国連	ダウン症のある人たちとその家族、支援者への理解がより一層深まり、ダウン症のある人たちがその人らしく安心して暮らしていけるように、さまざまな啓発のイベントを通じて世界中の人々に訴える。

その他一定の期間で設定されているもの

春の交通安全県民運動	4/6～15	県	広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図る。
秋の交通安全県民運動	9/21～30		
麻薬・覚せい剤乱用防止運動	10/1～11/30	国	麻薬、覚せい剤、大麻、シンナー、違法ドラッグ(いわゆる脱法ドラッグ)等の薬物乱用による被害を広く国民一般の方々に正しく認識してもらい、国民が一体となってこれに立ち向かう態勢を作り、もって薬物乱用による被害の根絶を期する。
年末年始の交通安全県民運動	12/1～1/3	県	年末、年始の繁忙期を迎え、交通事故の増加が懸念されるため、「年末・年始の交通事故防止県民運動」を実施することにより、県民一人ひとりの交通安全意識を高め、交通事故の防止を図る。

# 県教育委員会組織・分掌

教育委員会  
教育長

教育次長

参与  
(高校教育体制整備担当)

<b>教育政策課</b>			
人事	班 (086)226-7568	職員的人事・給与・旅費・服務・研修、公務災害、表彰、文書、条例規則、市町村教委指導、教育行政相談、公印管守、教育関係法人	
秘書広報	班 (086)226-7569	委員会会議、秘書、請願陳情、高齢者叙勲、公聴広報、調査統計	
教育企画	班 (086)226-7571	教育政策の企画・調査・総合調整、危機管理対策、教育委員会事務点検・評価、環境対策	
<b>財務課</b>			
財務	班 (086)226-7572	予算編成執行、県議会関係事務、経理の集中管理、就学支援金等、就学援助費等国庫補助金・国庫支出金	
給与管理	班 (086)226-7573	教職員給与費、義務教育費国庫負担金	
施設	班 (086)226-7574	教育財産の取得・処分・管理、県立学校施設整備・営繕	
助成	班 (086)226-7576	公立文教施設整備費国庫負担金・交付金、公立学校施設整備指導、公立文教施設調査	
<b>教職員課</b>			
給与免許	班 (086)226-7579	教職員給与、教育職員免許状、職員団体事務、公務災害、教職員の争訟事務	
義務教育人事	班 (086)226-7581	教職員の人事・服務・定数管理、教職員の叙勲・表彰	
高校教育人事	班 (086)226-7582	教職員の人事評価、学校の組織運営に関する企画・調査、教職員採用試験、勤務負担軽減、コンプライアンスの推進	
評価・企画	班 (086)226-7915		
<b>高校教育課</b>			
振興	班 (086)226-7583	産振施設・設備、理振設備、定通修学奨励、IT基盤整備	
指導	班 (086)226-7585	高等学校・中等教育学校教育課程の指導、学力向上推進、心の教育、環境教育、グローバル化に対応した教育、教職員研修、教科書採択、キャリア教育	
職業指導	班 (086)226-7586	教育課程の指導、情報教育、環境教育、教職員研修、教科書採択、キャリア教育	
管理	班 (086)226-7578	高校教育体制整備、中高一貫教育、県立中・高・中等教育学校の学級編制・生徒募集定員・入学者選抜・通学区域、高校教育の機会確保、公立高校等の設置・廃止	
<b>義務教育課</b>			
振興	班 (086)226-7910	教育研究団体助成	
指導	班 (086)226-7584	小・中学校教育課程の指導、就学前教育の指導、小中一貫教育、心の教育、グローバル化に対応した教育、へき地教育、教科書採択、教職員研修、キャリア教育、市町村立幼・小・中学校の設置・廃止	
学力向上対策	班 (086)226-7082	学力・学習状況調査、授業改革支援、補充学習支援	
<b>生徒指導推進室</b>		(086)226-7589	生徒指導、いじめ・暴力行為・不登校・長期欠席等対策、教育相談、教職員研修
<b>特別支援教育課</b>			
振興	班 (086)226-7587	特別支援教育就学奨励費	
指導	班 (086)226-7912	特別支援学校教育体制整備、就学指導、教育課程の指導、教職員研修、教科書採択、キャリア教育、生徒募集定員、入学者選抜、公立特別支援学校の設置・廃止	
<b>保健体育課</b>			
振興	班 (086)226-7590	学校体育・学校給食施設整備、災害共済給付金、学校医等の任免	
健康・安全	班 (086)226-7591	児童生徒の健康管理、学校保健安全指導、学校給食指導、防災教育	
学校体育	班 (086)226-7592	学校体育、体力づくり、運動部活動	
<b>生涯学習課</b>			
振興	班 (086)226-7595	社会教育施設整備、社会教育関係補助金、高校卒業程度認定試験、高等学校奨学金	
企画推進	班 (086)226-7596	生涯学習の振興、生涯学習施設支援、子ども読書活動の推進、ESD・ユネスコ活動、学校文化活動の促進	
社会教育	班 (086)226-7597	社会教育の振興、家庭教育、青少年教育、成人教育、社会教育委員、社会教育関係団体	
<b>文化財課</b>			
文化財保護	班 (086)226-7601	文化財の指定・保存・活用、文化財保護審議会、銃砲刀剣類登録	
埋蔵文化財	班 (086)226-7602	埋蔵文化財の調査・保存・活用	
<b>福祉課</b>			
福利厚生	班 (086)226-7603	退職手当、児童手当、教職員住宅、財形貯蓄、個人型確定拠出年金、岡山宿泊所、共済組合、互助組合、保健事業、文化厚生事業、福利厚生等相談事業	
健康管理	班 (086)226-7604	教職員の健康管理	
年金	班 (086)226-7605	年金、恩給	
<b>人権教育課</b>			
企画推進	班 (086)226-7611	人権教育行政の推進、市町村への支援、指導者の養成	
指導	班 (086)226-7612	人権教育の推進・指導・研修、指導資料の作成、教職員研修	

新晴れの国おかやま  
生き生きプラン

第2次岡山県教育  
振興基本計画

諸課題に対する  
県の支援策

施策の  
概要

魅力ある学校  
づくりの推進

学びのチャレンジ  
精神の育成

家庭・地域の  
教育力の向上

規範意識と思いやりの  
心豊かな体の育成

生涯学習環境の整備と  
文化・スポーツの振興

新規・拡充事業及び  
廃止事業一覧

資料編

県立学校

教育事務所

岡山(086)221-0529  
津山(0868)24-8702

中 学 校 3 校

岡山操山 (086)272-9836	倉敷天城 (086)429-3494	津山 (0868)22-3301
--------------------	--------------------	------------------

高 等 学 校 51 校

岡山朝日 (086)272-1271	玉島 (086)522-2972	高梁 (0866)22-3047
岡山操山 (086)272-1241	倉敷鷺羽 (086)472-2888	高梁城南 (0866)22-2237
岡山芳泉 (086)264-2801	倉敷工業 (086)422-0476	新見
岡山一宮 (086)284-2241	水島工業 (086)465-2504	南校地 (0867)72-2260
岡山城東 (086)279-2005	倉敷商業 (086)422-5577	北校地 (0867)72-0645
西大寺 (086)942-4150	玉島商業 (086)522-3044	備前緑陽 (0869)63-0315
瀬戸 (086)952-1031	津山 (0868)22-2204	邑久 (0869)22-0017
高松農業 (086)287-3711	津山東 (0868)22-9307	勝山
興陽 (086)296-2268	津山工業 (0868)22-4174	勝山校地 (0867)44-2628
瀬戸南 (086)952-0831	津山商業 (0868)22-2421	蒜山校地 (0867)66-2016
岡山工業 (086)252-5231	玉野 (0863)31-4321	真庭
東岡山工業 (086)279-0565	玉野光南 (0863)51-2311	落合校地 (0867)52-0056
岡山東商業 (086)272-1237	笠岡 (0865)62-5128	久世校地 (0867)42-0625
岡山南 (086)224-2226	笠岡工業 (0865)67-0311	林野 (0868)72-0030
岡山御津 (0867)24-0831	笠岡商業 (0865)62-5245	鴨方 (0865)44-2158
倉敷青陵 (086)422-8001	井原	和気閑谷 (0869)93-1188
倉敷天城 (086)428-1251	北校地 (0866)62-0057	矢掛 (0866)82-0045
倉敷南 (086)423-0600	南校地 (0866)62-0203	勝間田 (0868)38-3168
倉敷古城池 (086)455-5811	総社 (0866)93-0891	鳥城 (086)251-9755
倉敷中央 (086)465-2559	総社南 (0866)93-6811	

総合教育センター  
(0866)56-9101

中 等 教 育 学 校 1 校

岡山大安寺 (086)255-5013
---------------------

特 別 支 援 学 校 14 校

岡山盲 (086)272-3165	岡山南支援 (086)298-1090	健康の森学園支援 (0867)96-2995
岡山聾 (086)279-2127	岡山瀬戸高等支援 (086)952-5633	東備支援 (0869)66-8501
岡山支援 (086)275-1010	倉敷まきび支援 (086)697-1233	早島支援 (086)482-2131
岡山西支援 (086)243-4535	倉敷琴浦高等支援 (086)477-9301	誕生寺支援 (0867)28-2321
岡山東支援 (086)279-3020	西備支援 (0865)63-1603	弓削校地 (0867)28-2828

教 育 に 関 す る 相 談 窓 口

◆いじめ・不登校・進路・養育等に関すること  
《教育一般に関する相談》

◇県総合教育センター	(0866)56-9115
◇倉敷教育相談室	(086)427-0244
◇高梁教育相談室	(0866)22-9833
◇津山教育相談室	(0868)24-1424
◇岡山県青少年総合相談センター	
総合相談窓口	(086)224-7110
教育相談(学校教育)	(086)221-7490
進路相談	(086)224-1121
子どもほっとライン	(086)235-8639
すこやか育児テレホン	E-mail:kodomo@fine.ocn.ne.jp (086)235-8839
ヤングテレホン・いじめ110番	E-mail:sukoyaka@po1.oninet.ne.jp (086)231-3741
	E-mail:youngmail@pref.okayama.jp
◇児童相談所全国共通ダイヤル	0570-064-000
《いじめに関する相談》	
◇24時間子供SOSダイヤル	0120-0-78310

◆特別支援教育に関すること

◇県総合教育センター	(0866)56-9117
◇県福祉相談センター	(086)235-4152

◆生涯学習、体験・ボランティア活動に関すること

◇県生涯学習センター	(086)251-9750
◇体験・相談コーナー(体験・ボランティア活動)	(086)251-9758

◆教育行政相談に関すること

◇教育行政相談窓口(県教育庁教育政策課内)	(086)226-7909
-----------------------	---------------

◆教職員の健康に関すること

◇こころとからだの健康相談	(086)235-8349
---------------	---------------

◆学校支援ボランティアの活用(子ども応援人材バンク)

◇おかやま子ども応援センター	(086)226-7597
	E-mail:kodomo-ouen@pref.okayama.jp

◆学校・教職員に対する、保護者や地域等からの相談、苦情や要求等に関する法律相談(岡山弁護士会)

	※土・日・祝日・年末年始を除く
◇9:00~17:00	(086)223-4401

生涯学習センター  
(086)251-9750

県立図書館  
(086)224-1286

県立博物館  
(086)272-1149

古代吉備文化財センター  
(086)293-3211

指定管理者による  
管理運営施設

渋川青年の家  
(0863)81-8039

青少年教育センター関谷学校  
(0869)67-1427

特別史跡旧関谷学校  
(0869)67-9900

平成29年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター」  
岡山県教育委員会教育長賞作品



岡山市立宇野小学校4年（受賞当時）寺澤 ひな乃さんの作品です

平成29年度 わが家のすこやか日記 優秀作品より

「親子ケンカ」

ある日、とっても小さなことで母さんとケンカしてしまいました。「知らない。もうタゴハン食べない！バカ。」と母さんに言ってしまいました。タゴハンを食べずにいると、母さんは無言で、おにぎりを私の近くにおいてくれました。何も言いたくない私の気持ちを分かってくれていました。「お風呂入りなよ」その優しさに、泣かずにはいられませんでした。ありがとうね、母さん。

笠岡市立神島外中学校2年（受賞当時）大本 麻由さんの作品です